

OTARITEC

OTARITEC

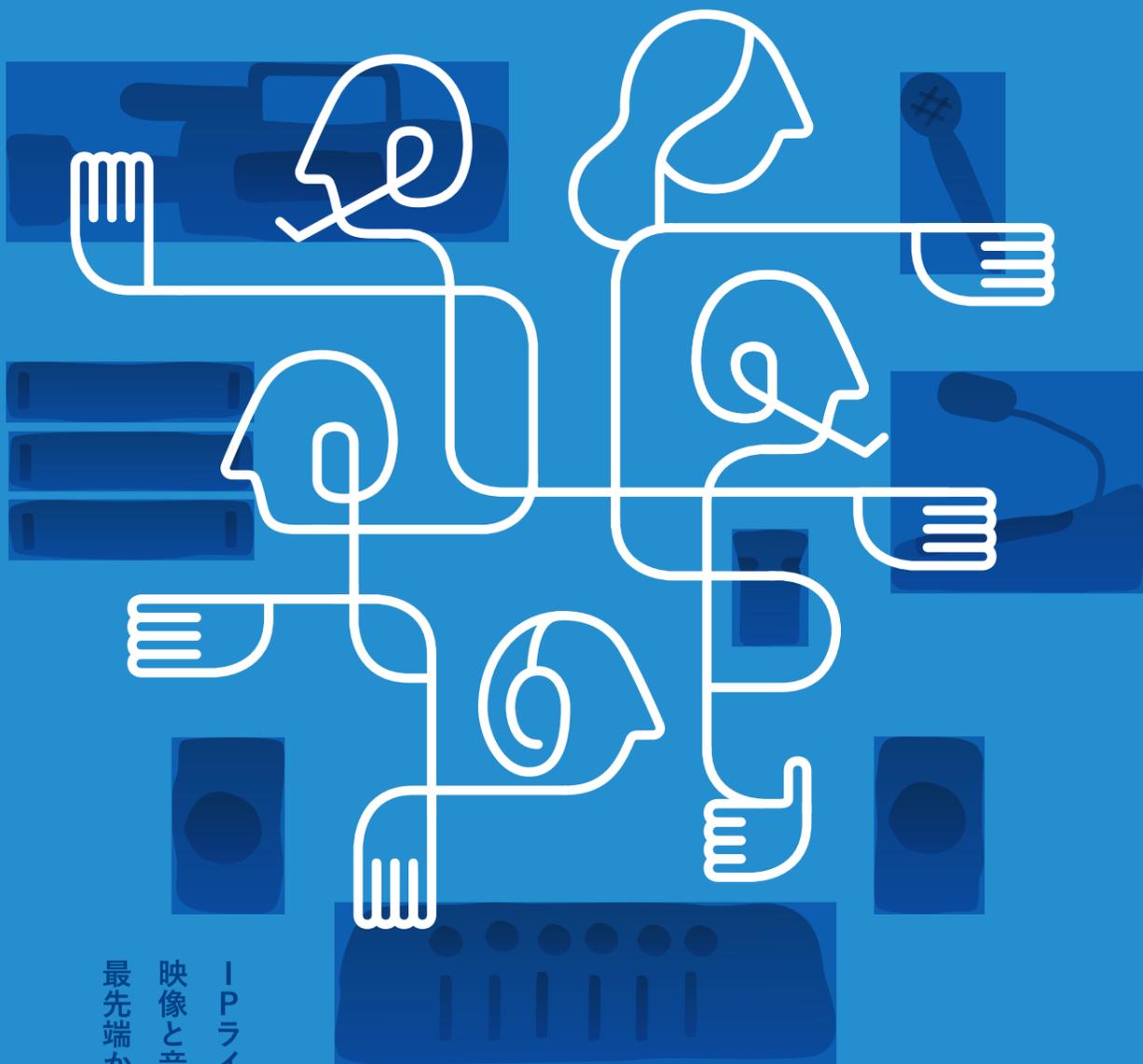
www.otaritec.co.jp

総合カタログ 2021年7月版

オタリテック株式会社 | 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-30-16 | TEL.03-6457-6021 | FAX.03-5285-5281

総合カタログ 2021年7月版 © OTARITEC CORPORATION PRINTED IN JAPAN

オタリテック株式会社



IPライブプロダクションの時代に
映像と音響のプロフェッショナルの皆さまへ
最先端かつ最適なソリューションをお届けします

オタリテックは1980年に事業をスタートして以来、オタリ株式会社
の光伝送システム「Lightwinder」をはじめ、世界各国から厳選した
プロフェッショナル用映像、音響機器を40年以上にわたって日本の
放送局、中継車、レコーディングスタジオ、ポストプロダクション、
ホール設備、ライブハウス、SRへお届けして参りました。スタン
ドアローンからトータルソリューションまで、クライアントのニーズに
沿った最適なご提案をいたします。

OTARITEC

BRAND LIST

RIEDEL Communications (Germany) **RIEDEL**

デュッセルドルフから東に30km、世界最古のモノレールやピナ・パウシュの舞踊団で知られるドイツの都市ヴッパータールでインターカムのレンタル業をしていたトーマス・リーデルが「さらに性能の高い製品を」と1987年に創業。最先端の技術を搭載した高いクオリティのインターカムシステムと光伝送プラットフォームの開発・製造・販売・レンタルを行い、世界的なスポーツイベントやF1でもRiedel Communicationsの製品が使用されています。

AVT (Germany)



AVT (Audio Video Technologies)は1996年、ドイツ南部バイエルン州でミュンヘンに次ぐ第2の都市ニュルンベルグでLucent Technologies社(旧PKI)の音声/映像事業を引き継いでスタート。AVTはLucent TechnologiesとPKIが製造していた高品質オーディオ/ビデオ伝送関連機器についてさらなる開発、製造およびマーケティングを行う権利を持ち、長い経験を有するPKI社のオーディオ/ビデオ・チームの専門知識を受け継いでいます。

PMC (UK)



BBC(英国放送協会)のエンジニアであったピーター・トーマスが1991年に設立したPMC(The Professional Monitor Company Limited)。「スピーカーへのベースローディングテクノロジーの搭載」をプロフェッショナルモニターとして唯一確立したPMCの製品は高い評価を受け、世界各地のレコーディングスタジオや放送局が採用。近年はドルビー社と協力し、イマーシブオーディオ向けの製品開発にも力を注いでいます。

Roswell Pro Audio (USA)



DIYマイクキットパーツ製造会社micpartsの運営をはじめ長年に渡りスタジオマイクの世界に関わり、「マイク界のウィキペディア」Recording.Hack.comも主宰するマット・マクグリンが米国カリフォルニアで創業したプティックマイクロフォンカンパニー、Roswell Pro Audio。世界中から集めた貴重なパーツを使用し、現代の音楽制作ワークフローに適した設計でありながらヴィンテージトーンを持つスタジオマイクロフォンを製造しています。

XTA (UK)



xta electronicsはKlark Teknikの元エンジニア2人、アンドリュー・グレイランドとジョン・オースティンが1992年に立ち上げたシグナルプロセッシングを得意とするブランド。パーミンガムにほど近いウスターシャーに本拠地を置き、デザインと操作性を重視したMic/Lineアクティブ・スプリッター「DS8000」、コンソールスイッチングシステム「MX36」など先進的で高音質と信頼性、使い易さ重視のデザインで世界中のユーザーから好評を博しています。

LAWO (Germany)



フランクフルトから南に約150km、ヨーロッパ屈指の温泉保養地バーデン・バーデンにほど近い南ドイツの都市ラシュタットで1970年に創業したLAWOは放送局、劇場、商業施設や一般企業向けの先駆的な映像、音声、制御そして監視技術のテクノロジーを開発し、すべての製品を本社において最高の品質基準で製造。創業51年を迎えた長い歴史を持つ企業でありながら、放送制作IP化の革新者として世界の最先端を走り続けています。

OTARI (Japan)



1965年創業、マルチトラックテープレコーダー「MTR-90」シリーズなど世界的ヒット製品で知られる日本のメーカー。1998年長野オリンピックに向けて開発した光伝送システム「Lightwinder」シリーズは高い安定性と可搬性を有し、I/Oはモジュール式を採用することでフレキシブルなシステムアップを行うことが可能。第6世代となる現行の「LWB24/72」シリーズまで、放送および中継に欠かせない機器として日本中の放送局で愛用されています。

Phonak / Roger (Switzerland)



1947年スイスのチューリッヒで創業、イヤーヘルスケアブランドとして70年以上の歴史を持ち補聴器のグローバルブランドとして確固たる地位を確立しているPhonak。100カ国以上で利用されるデジタル補聴器を開発・製造するメーカーとして世界最先端の技術を持つPhonakが、画期的なイヤーピース型のコミュニケーションシステムRoger™を開発しました。世界各地の放送局、会議場、博物館等の現場で使用され、大きな信頼を得ています。

Ehrlund Microphones (Sweden)



ストックホルムから車で3時間半、森と湖に囲まれた自然豊かなスウェーデンのダーラナ県で2005年にEhrlund Microphonesは誕生しました。同地で長年電気回路設計に携わってきたResearch Electronics社がヨラン・アーランドの三角形振動板カプセル技術「トライアングル・カプセル・メンブレン」を製品化。Ehrlund Microphonesカスタムメイドのカプセルと電子回路とケースは、手作業で選別した最高級部品のみを用いて組み立てられています。

Zähl Elektronik-Tontechnik (Germany)



独ケルンにあるコニー・ブランクの伝説的な『Conny's Studio』で技術担当をつとめ、クラフトワーク、クラスター、ノイ!らの名盤にも関わったマイケル・ツァール。数多のカスタムビルドコンソールや放送機器を設計・製作したマイケルが設立したアナログコンソール/アウトボードブランドが、Zähl Elektronik-Tontechnik。そのハイクオリティな製品は高い評価を得て、世界中のミュージシャンやエンジニアたちの制作現場に導入されています。

d&b audiotechnik (Germany)



1981年4月、独シュツットガルト近郊の村コルブでユルゲン・ダウベルトとロルフ・ベルツが創業したd&b audiotechnik。アーティストの情熱を正確に観衆へ伝えること、会場のどこにいても完璧なサウンド体験が得られること、ラウドスピーカーとアンプをはじめとしたすべての電子機器がハーモニーを奏でよう機能することを目指して設計・開発されたd&bの製品は、会議室から大型のスタジオアムまで、世界各地で使用されています。



mc²96 Digital Audio Mixing Console

LAWOの新フラッグシップコンソール。チャンネルアサインや個々のテキストラベルやアイコンによる標準的なチャンネルラベル表示に加えて、さらに直感的なチャンネル識別を可能にする **LiveView™** ビデオサムネイルも装備。フェーダーに触れるだけで **LiveView™** サムネイルがフルスクリーンモードに変わってカメラや再生機等のそのチャンネルのビデオソースの詳細なビューを提供します。

IPを介する複雑な制作インフラ内でのネットワーキング用に新設計されています。DALLIS 入出力リソースを共有する際、個々のユーザーが各自のゲイン設定を調節しているときに、ネットワーク接続したコンソール上で予想外のゲイン変化が生じることをネットワークゲイン補正機能 **IP-Share™** が防止します。



- 24 ~ 200 フェーダー
- 21.5 インチのフル HD タッチスクリーン、チャンネルストリップ内のカラー TFT ディスプレイとカラーコードが施されたタッチセンスタイプエンコーダー
- ゲイン以外に6つのパラメーターに直接アクセスできるフリーコントロール
- マルチユーザー操作向けに設計
- ビデオラベル機能 **LiveView™**
- ゲイン補正機能 **IP-Share™**
- パラレルコンプレッション
- サラウンドおよび 3D ミキシング用の優れたツール群
- AutoMix、Audio-follow-Video、Downmix、AMBIT Upmix、KICK 2.0 を含む自動ミキシング支援機能
- ラウドネスメータリング搭載
- 包括的なローカル入出力
- 冷却ファンを排したコンソールデザイン

mc²56 Digital Audio Mixing Console

先進的な HD Core 技術と小型・簡素化したコンソールサーフェスを融合させたコンパクトミキシングコンソールシステム。32 フェーダーで幅わずか 1.2 m、重量 63 kg の非常にコンパクトなサーフェスは様々な現場にフィットします。もちろん、他の mc² シリーズ同様に、コンソール間のデータのやり取りやネットワーク機能も装備しています。mkIII では **mc²96** に搭載された **LiveView™** ビデオサムネイルも追加。



- 16 フェーダー ~ 80 フェーダー
- 最大 376 入力、48 GRP、32 AUX、96 TRK バス、48 サミングバス出力
- 最大 64 サラウンドチャンネル、128 VCA グループ
- 最大 8,192 クロスポイント、96 kHz/24 ビット
- 2 系統の AFL/PFL バス
- IP を介する複雑な制作インフラ内でのネットワーキングに対応

mc²36 Digital Audio Mixing Console

小型ながら必要な機能がすべて搭載された「オールインワン・コンソール」**mc²36** の第 2 世代がついに登場しました。第 1 世代と比べて 2 倍の DSP チャンネル数を持ち、大型の **mc²96**、**mc²56** と同様の優れた使い心地を提供。A__UHD Core エンジンが高い音声処理品質、LAWO グレードのマイクロフォンプリアンプを特徴とするローカル入出力、そしてコンパクトなコンソールサーフェスと組み合わせた IP ネイティブな製品です。



- A__UHD Core 技術を採用したオールインワン・コンソール
- LAWO グレードのマイクロプリアンプを含む内蔵入出力
- 16 フェーダーまたは 32 フェーダーを収容するフレーム
- 256 個の DSP チャンネル
- 864 チャンネルの入出力容量
- 48 kHz 及び 96 kHz* 運用
- IP Easy - アナログのようにシンプルな IP セットアップ
- 関連 IP 規格 ST2110、AES67、RAVENNA、Ember+、NMOS* をネイティブサポートし、IP ベースのインフラ向けに設計

*) リリース予定

A__UHD Core Ultra-high Density IP DSP Engine for mc² Consoles

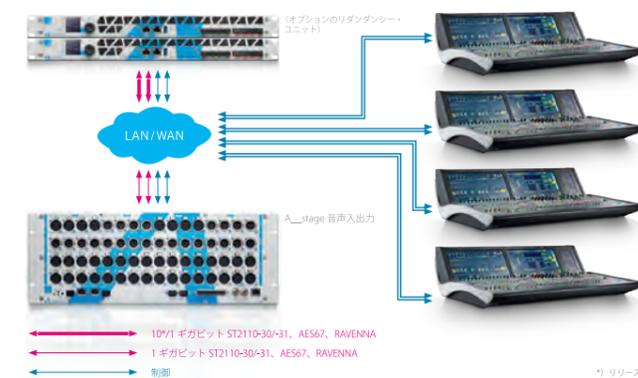
mc² オーディオプロダクション・コンソール用に設計された、極めて高い処理密度を持つ、ネットワークベースのソフトウェアディファインド IP DSP エンジン。LAWO グレードの DSP チャンネルが 1,024 個あり、難しい制作をこなすために 1 台の mc² コンソールで使用したり、また複数のコンソールで共有して作業を行うことも。また LAWO の IP Easy 機能を使うと、IP セットアップをアナログ並みのシンプルさで行うことができます。



- 1RU に 1,024 の LAWO グレード DSP チャンネル (96 kHz モードでは 512 チャンネル)
- オープンスタンダード (ST2110-30/31、AES67、RAVENNA) に基づく IP ネットワークプロセッサ
- フルリダンダンシー: 1 GbE / 10 GbE* 対応の独立 SFP ネットワークインターフェイス 8 基による SPS ストリーム・リダンダンシー (ST2022-7)
- ホットスペア・リダンダンシーユニットによるハードウェア・リダンダンシー
- 柔軟なライセンスシステムによって拡張可能な DSP パフォーマンス
- 複数コンソール間で共有可能な DSP リソース
- mc²56/mc²96 コンソール用に設計
- 将来性を見据えたソフトウェアディファインド・ハードウェア

*) リリース予定

OVERVIEW: POOLING LICENSE



*) リリース予定

ruby Visual Radio Console

フィジカルコントロールとバーチャルコントロールを絶妙に組み合わせたユーザーインターフェイスを持つ、現代のラジオ局向けデジタルコンソール。マルチタッチ対応ディスプレイでスタジオのワークフローに馴染みます。



- 4、8、12、16 フェーダーのフレームサイズでデスクトップまたはフラッシュマウント。4 または 8 フェーダーのエクステンダーとマスターコントロールモジュール
- 複数フレームを組み合わせて最高 60 フェーダーのシステムを構成可能
- 単一の連続フレームか分割フレームのコンフィグレーション
- 設定済みのレベルを即座に変更できるタッチセンスタイプ 100 mm 電動フェーダー
- オンエア+制作モードとフェーダーマップの 2 つの用途のあるスナップショット TwinSnaps (最大 120 個のバーチャルフェーダーをサポート)
- ボタン 1 押しで呼び出しできるカスタムな盤面レイアウト用の 5 つのコンソールスナップショット
- GUI ビルダーソフトウェア VisTool 付属
- ミキシングエンジン / IP オーディオマトリクス Power Core は 1U サイズ

sapphire Digital Audio Mixing Console for On-Air & Production

小規模のラジオ局向けデジタルコンソール。モジュール式のコントロールサーフェス、様々なフォーマットに対応可能な I/O システムや自由に設定可能なロジック機能により、ユーザーの要望に柔軟に対応します。



- 最大 60 フェーダー
- 最大 96 チャンネル
- 128 DSP モジュール (EQ/Dynamics/Delay)、60 サミングバス、32 ディエッサー
- MIC、アナログ、AES、MADI、HD-SDI 等、多種多様なインターフェイスに対応可能な DALLIS I/O システム
- 仕様に合わせて自由にプログラム可能な各種コントロール (N-1、スイッチ、トークバック機能等)

Power Core^{RP} IP Audio I/O & DSP Node for Remote Production



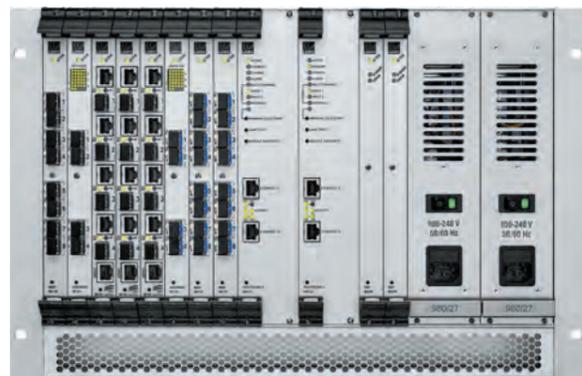
mc² コンソール用にモジュール式入出力と DSP 機能、IP ストリーミング能力を統合して WAN 対応 IP ノードにまとめたリモートプロダクションエンジン。AoIP 用リダンダント 1GbE SFP ポート ×2、MADI ポート ×1、Mic/Line/AES3 カード混用可能な入出力スロット ×8 を装備。全入出力パラメーターは mc² コンソールのチャンネルストリップや制御用タッチスクリーン GUI から制御可能です。

- オープンスタンダードに基づく ST2110/AES67/RAVENNA IP オーディオネットワーク
- シームレスプロテクションスイッチングが可能な ST2022-7 クラス C ネットワークリダンダンシー
- SFP を介する 1GbE ストリーミングポート ×2、SFP を介する 1GbE 管理ポート ×2、RS422 (RJ45) ×1
- USB ドングルポート ×1
- SFP を介する MADI×1
- ワードクロック入出力
- GPI×8、GPO×8
- 64 個のモノ入力チャンネル：デジタル入力セクション (デジタルゲイン/位相) / ディレイ /EQ+ フィルター (4 バンド) / ダイナミクス (Comp/Exp/Gate/Lim)
- 16 個のステレオ AUX バス：ディレイ /EQ+ フィルター (4 バンド) / ダイナミクス (Comp/Exp/Gate/Lim)
- ローカル/リモート使用のための独立した PFL/ リッスンバス
- トークバックシステム内蔵
- 1RU、4.5 kg

Nova73 compact Digital Audio Matrix

Nova73 HD の小型バージョン。Nova73HD や mc² シリーズと同じインターフェイスカードを用い、同じリダンダンシー能力を提供します。スタンドアロンのルーターとして、また mc² シリーズコンソールとの組み合わせで使用できます。

- 5,120×5,120 のルーティング容量 (モノチャンネル)
- 最高 600 のフル装備 DSP チャンネル (ブロードキャストモード時)
- 入出力および DSP モジュール用の 10 個のスロット
- D-sub 25 コネクタ使用の内蔵 AES3 接続
- 19" / 7RU のフレーム
- ルーター、電源、カードとポートのリダンダント化可能



Nova73 HD Digital Audio Matrix

96 kHz、Dolby-E 互換、ビデオフレームでのクロック同期、ゲイン調整やモノミキシングの信号処理を統合した最新ルーティングシステムを提供します。モジュール式の構造と高性能アーキテクチャーは将来における要求にも対応可能です。

- 柔軟性の高いモジュラーベースの 8,192 モノチャンネルルーティング
- サンプル単位での同期システム
- 幅広い種類のインターフェイス
- 96 kHz、Dolby-E 互換
- コスト効率の高いシステム
- STAR² 構造とリダンダンシーオプションによる高信頼性



A__stage Series AoIP Stagebox

A_line シリーズの A__stage は WAN 対応 AoIP ステージボックスで、A 級マイクプリアンプと進化したデジタル A/D FIR フィルタリングを搭載。SMPTE 2022-7 シームレスプロテクションスイッチング (SPS)、2 系統のリダンダントネットワークリンクを提供します。バランス/アンバランス信号を扱えるマイク/ライン入力、ブロードキャストクオリティの SRC を備えた AES3 入出力、PTP/ワードクロック同期/変換機能、デュアルリダンダント電源を装備。

共通仕様：

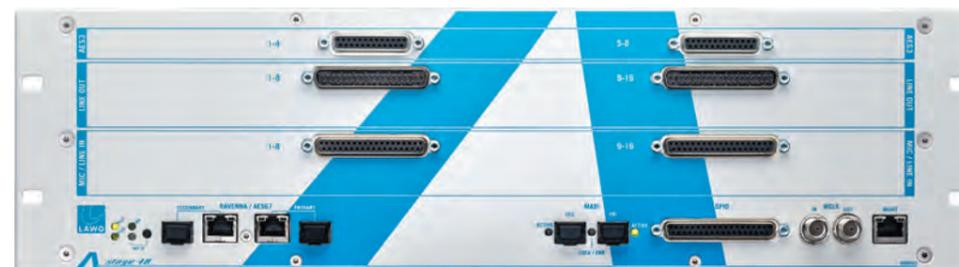
- AES3 In×8、AES3 Out×8
- MADI ポート ×2
- デュアルストリーミング/制御ポート ×2 (SFP/RJ45 100/1000Base-T イーサネット)
- 管理/制御ポート ×1 (RJ45 100/1000Base-T イーサネット)
- GPIO ポート ×8
- WCLK In×1、WCLK Out×1

A__stage 64 AoIP Stagebox



- Mic/Line In×32、Line Out×16
- 4RU、5.9 kg

A__stage 48 AoIP Stagebox



- Mic/Line In×16、Line Out×16
- 3RU、6 kg

A__stage 80 AoIP Stagebox



- Mic/Line In×32、Line Out×32
- 3RU、5.2 kg

A_line IP Interface

A_line は LAWO mc² コンソール譲りのワイドなダイナミックレンジと超低歪みで高品位なオーディオクオリティーを持った RAVENNA/AES67 IP インターフェイスユニットです。IP ネットワーク経由でアナログ/デジタル信号の伝送を可能にします。

A_mic8 Mic/Line-IP Interface



- Mic/Line In×8、Line Out×4
- 40/80 Hz 切替式 LCF、全アナログ I/O の PPM メーター表示、64/64ch ルーティングマトリクス、PoE (Powered-over-Ethernet) 対応
- 1RU、2.1 kg
- デュアルストリーミング / 制御ポート ×2 (SFP/RJ45 100/1000Base-T イーサネット)
- GPIO ポート ×8
- WCLK In×1、WCLK Out×1

A_digital64 AES-IP Interface



- AES3 In (stereo) ×32、AES3 Out (stereo) ×32、MADI ポート ×2、管理 / 制御ポート (RJ45 100/1000Base-T イーサネット) ×1
- 40/80 Hz 切替式 LCF、全 I/O の PPM メーター表示、256 / 256ch ルーティングマトリクス
- 3RU、5.2 kg
- デュアルストリーミング / 制御ポート ×2 (SFP/RJ45 100/1000Base-T イーサネット)
- GPIO ポート ×8
- WCLK In×1、WCLK Out×1

A_madi6 MADI-IP Interface

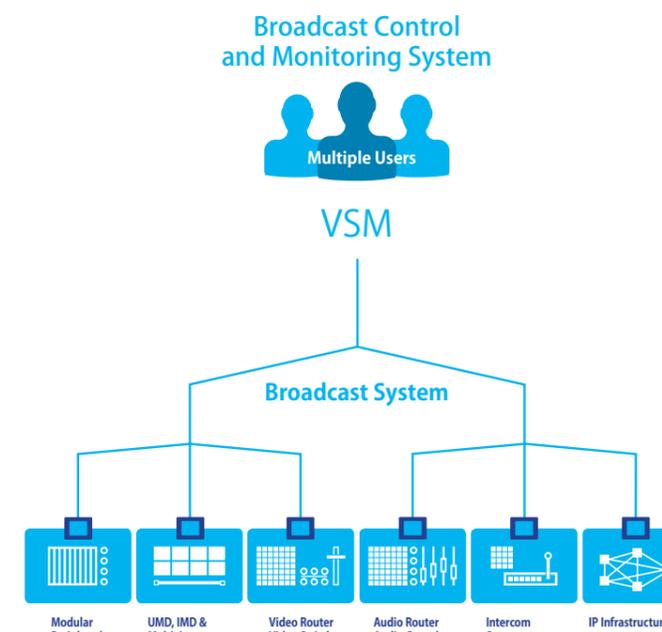


- MADI ポート ×2
- ブリッジ毎に 256 / 256ch ルーティングマトリクス
- 1RU、3.1 kg
- デュアルストリーミング / 制御ポート ×2 (SFP/RJ45 100/1000Base-T イーサネット)
- WCLK In×1、WCLK Out×1

VSM IP Broadcast Control and Workflow Solution

ライブプロダクションにおける放送用機器を制御するシステム

VSM (Virtual Studio Manager) ブロードキャストコントロールシステムは、「everything under one roof (すべてはひとつの屋根のもとに)」という柔軟な考え方をベースとして、安全で融通の利く放送運営を実現するための要求事項に応え、技術機材とオペレーターをひとつにします。VSM のユーザーパネルとインターフェイスはシステム全体をリダンダントな制御下に置きながら、異なるワークフローや用途の要求を満たすように、制約なしに構成することができます。



vsmStudio

vsmStudio は、VSM システムの中心となるソフトウェア。システム内の全 VSM サーバー上で常時動作するメインの管理 / 構成ツールです。

vsmStudio の概要

- 構成、管理、集中制御を扱うユーザーフレンドリーなソフトウェア
- コンフィギュレーションはダウンロード、またはシステムをオフラインにする必要なくリアルタイムで変更可能
- オフライン・コンフィギュレーション可能
- 複数サーバーのリダンダンシーの同期とシームレスなチェンジオーバー

vsmStudio の機能

- **vsmTALLY** : タリーを生成し、それを外部トリガーと組み合わせ、タリーを外部コンシューマーに送信、及びスタンドアローンのタリー・システムを置換
- **GPI** : カスタムなワークフローを作成するための強力な論理ツールセットを提供
- **Gadgets** : 外部機材のパラメーターを制御
- **Meta Gadgets** : 任意のパラメーターをソース、またはデスティネーションに「リンク」させることにより、ダイレクトに操作可能
- **Virtual Signals** : ルーターのフィジカルなリソースを用いることなく「リエントリー」を作成
- **Virtual Layers** : オートメーション・システムによってリモート・コントロールされる外部制御システムに、SW-P08 などのプロトコルを介してクロスポイント・マトリクスを提供
- **Storage Groups** : ラベルやクロスポイントや GPO ステータス、パラメーター、Mimic Button を使ったパネル・レイアウトを含むプリセットを作成 / 読み込み / 保存
- **Pseudo Devices** : 映音連動のような複数の異なるデバイスのレイヤー内の映像 / 音声 / TC/RS-422 信号一括切替が可能
- **Event Scheduler** : クロスポイントの一斉切替などのイベントのタイムベースの切り替えを有効
- **Apology** : アラームをトリガーにしてバックアップ状態への自動復旧を可能
- **Alarms** : SNMP/GPIO/ ネイティブ・プロトコルを介して入力されるアラームを収集して処理
- **Timers** : アクションを実行するための複数のトリガーを備えたアップ / ダウン・タイマー

vsmPanel + vsmGear Panel and Interfaces

VSMは放送環境にエンジニアリング上のメリットと柔軟性をもたらします。メリットと柔軟性を十分に活かすためにシステム設計上最も重要となるのは、運用担当者がアクセスと制御をしやすくすること。ハードウェアのボタンパネルと、ソフトウェアまたはWEBベースのコントロールクライアントの組み合わせが、この相互作用のベースを作ります。



ソフトウェアパネル

vsmLBP 17
ハードウェアパネルvsmLBP 16e
エンコーダー付ハードウェアパネルvsmLBP 84
84 ボタンハードウェアパネルvsmSMARTHUB 208
シリアルインターフェイスvsmGPIO 32
GPIO ボックスインターフェイスvsmLBP 32-DT
デスクトップタイプパネル

smartDash System Monitoring and Realtime Telemetry for Broadcast Networks

Lawo社のシステムモニタリング及びリアルタイム・テレメトリ・ダッシュボード（別名 smartDASH）は、ベンダーに依存しないエンタープライズソフトウェアです。様々な IP 機器のブロードキャストインフラ全体を監視するツールです。



smartScope Deep Packet Media Inspection & Network Analyzer

smartScopeはメディアのパケット検査やストリーム分析を行うツール。ライブプロダクションや配信におけるIPフローのための、24時間365日の高密度分析プラットフォームです。



V__matrix Software-defined IP-Routing & Processing Platform

ソフトウェア・デファインド・IPルーティング&プロセッシング・プラットフォーム

V__matrixはST-2110、ST2022-7に対応したIPルーティング/プロセッシングのプラットフォームとして内部スロットに複数台のC100 IPビデオ・プロセッサを搭載します。

40GbEで接続されたIPストリームは4K/HDRに対応したMultiview Module、Format Converter Moduleなどのアプリケーションを追加して様々な拡張機能を持たせることが可能です。またシステムコントローラーとしてVSMを使うことにより、周辺機器を含めたトータルIPコントロールを実現します。

- 機能がソフトウェアによって定義される、大容量汎用演算モジュールを用いた世界初のバーチャル化放送エコシステム
- 統一化されたルーティング/プロセッシングコアインフラ
- ソース/デスティネーションで時間設定されたフレーム精度のクリーンなスイッチングをサポート
- 複数のネットワーク化プロセッシングモジュールにわたる分散化プロセッシング
- 統一化された制御システム（VSM）を用いてのシームレスなSDIからIPへの移行
- 従来のSDI機材の高密度IPへの変換（3RU内に最高160入出力）
- リソースを最適活用：専有面積、消費電力、スペア保管とケーブル配線を大幅に低減
- 信号、ネットワーク、制御、ハードウェアに対する洗練されたマルチレイヤーリダンダンシー
- 分散化運用とデータセンタースタイルの集中化運用の両方に合わせた設計
- AIMSロードマップに則したオープンスタンダードに準拠：SMPTE 2110-10/20/30/40、2022-6/7、2042 (VC-2)、VSF TR-01、AES67、Ember+

- マルチビューワーのバーチャルモジュールはIPとSDIの両ソースを扱え、ピクセルまで完璧なモザイクを超低レイテンシーで生成しながら、非圧縮の4K/UHD、3G、HD、SDビデオ、エンベデッド音声とディスクリット音声の両方をモニター可能



V_remote4 Video over IP

IPベースのリモート制作用オールインワン・ソリューション



Video-over-IP コーディング機能を搭載したビデオプロセッサ。IPベースのリモートアプリケーション等様々なソリューションを提供します。

- Video-over-IP エンコーディング/デコーディング×4
- フレームシンクロナイザー
- 映像遅延/音声遅延+測定機能
- エンベディング/ディエンベディング+サンプルレート変換

- サラウンドダウンミックス
- RGB & YUV カラー補正+プロセッサアンブ
- 高品質アップ/ダウン/クロスフォーマットコンバーター
- クアッドスプリットモニタリング
- ウェブフォーム+ベクトルスコープ
- タイムコードインサージョン
- テストパターン+ビデオIDジェネレーター
- サムネイルプリビュー表示

V_pro8 Video Processor

コンパクトなフルデジタルの8チャンネル・ビデオ・プロセッサ



日常のワークフローで必要とされる機能を搭載したコンパクトでパワフルなビデオプロセッサ。映像と音声を統合させたオールインワンユニットは、スペース・時間・コストの制約に効果的です。

- 8×8映像マトリクス+384×384音声マトリクス
- フレームシンクロナイザー
- 映像遅延（最大8フレーム）、音声遅延（最大320ms）
- サンプルレートコンバーター

- サラウンドダウンミックス
- RGB & YUV カラー補正+プロセッサアンブ
- 高品質アップ/ダウン/クロスフォーマットコンバーター
- クアッドスプリットモニタリング
- ウェブフォーム+ベクトルスコープ
- タイムコードインサージョン
- テストパターン+ビデオIDジェネレーター
- サムネイルプリビュー表示

Artist Mainframe Artist Digital Matrix Intercom Series

高い信頼性をもったコミュニケーションと音声信号の伝送を提供する、拡張性・柔軟性の高いデジタル・インターカム・ネットワーク
Artist シリーズ次世代へのステップとなる 1024 が新たに登場



Artist 1024

Artist 1024

- 最大 1024 ポートの 2RU フレーム
- UIC128 カードを最大 10 枚実装可能
- ライセンスにより使用するポート数を柔軟に構成可能
- SMPTE2022-7 によるネットワーク冗長化、UIC128 の N+1 冗長化スキームに対応
- ノードごとに複数の独立したシンクドメインを設定可能
- クーリング方向を前→後 / 後→前に切り替え可能

UNIVERSAL INTERFACE CARD (UIC) *Artist 1024

- ソフトウェア定義のハードウェア：実装するアプリによってプロセッサ / Artist ファイバーリンク用途や、MADI または SMPTE 2110-30/31 (AES67) のルーターとして使用可能
- ライセンスにて 8 ~ 128 ポートまで拡張可



Artist 32/64/128/1024 共通

- 分散型構造のファイバーリングにより、他ノードと完全な統合可能
- Bolero ワイヤレスインカムとのシームレスな統合
- 既存の IP 規格をサポートし、さらに将来の規格もサポート
- 設定が容易なコンフィグレーション・ソフトウェア
- 豊富な機能（キー機能、ロジック、オプション等）
- 多様なオプションツール（MCR、RRCS、SNMP、Trunking）



Artist 32



Artist 64



Artist 128

Artist 32/64/128 共通

- 豊富な接続性
- SMPTE 2110-30/31 (AES67)
- VoIP
- MADI
- Dante™
- AES3 (CAT5/COAX)
- アナログ
- GPIO

Control Panel Digital Connection Control Panels for Artist Series

Artist シリーズに対応した操作パネル。

RSP-1232HL Smartpanel



RSP-1232HL

アプリ駆動の RSP-1232HL (Hybrid Lever) 多機能インターフェイスはワークフローの柔軟性とパワーと接続能力を格段に進化させます。今日用いられている様々なワークフローに簡単に適応する能力を備えており、従来方式の作業が可能でありながら、まったく新しい可能性も拓きます。フルカラータッチスクリーンや複数ワークフローのサポートに加えて、32 個のハイブリッドレバーキーは様々なパラメーターを制御できる革新的なロータリーエンコーダーを一体化しています。

RSP-1232HL SmartPanel の主な特長

- トーク/リッスンとトーク/ミュートの 2 つのワークフローを備えた初のパネル
- ワークフローのプリファレンスは Director から簡単に設定可能
- 操作を中断することなく追加設定や機能にアクセス可能（インターカムキーには常時アクセス可能）
- ラックマウントスピーカーとして使用可能なステレオスピーカー
- トーク先のチームやチームメンバーをロジカルに素早く識別
- 16 の個別グループカラーを自由に選んでキーラベルやカラー LED リングに割り当て可能

RSP-1216 HL Smartpanel



RSP-1216HL

複数のフルカラー・マルチタッチ・ディスプレイ、直感的な操作、アプリを活用した多機能性など機能性や使いやすさを犠牲にすることなく、RSP-1232HL のすべてのパワーをさらにコンパクトな 1RU サイズのフレームに集約。レバー式と回転式のキースタイルを組み合わせた独自のハイブリッドレバーキーデザインを採用することで、1 つのキーで数多くのパラメーターをコントロールすることができワークフローの柔軟性、パワー、接続性が飛躍的に向上しています。完全に IP 化され、また豊富な接続端子を備えています。

RSP-1216HL SmartPanel の主な特長

- アプリケーションの実装により多彩な機能を搭載可能
- 高解像度 / 高輝度のマルチタッチ・カラーディスプレイ ×3
- ロータリーエンコーダー内蔵のハイブリッド・レバーキー ×16
- トーク/リッスンとトーク/ミュート、2 つのワークフロー
- 8 文字のメインラベル、16 文字のサブラベル、およびユーザー定義のアイコンラベルを備えたキーラベル

RSP-2318 Smartpanel



RSP-2318

多機能ユーザーインターフェイスを搭載したスマートパネル。高解像度で日照下でも視認性が高く、マルチタップ、多言語表示に対応するフルカラーTFTディスプレイを3基搭載し、インカムパネルとしてだけでなくアプリケーション追加で機能拡張ができる多機能なインターフェイスとなっています。本体は1U、18キーを装備。マトリクスとの接続用にAES67/AVBポートを標準装備し、オプションによりCAT/COAXの接続にも対応可能で、従来のマトリクスシステムとも互換性があります。

- 次世代ネットワーク規格 AES67 対応
- USBポート、Bluetooth、HDMI など各種インターフェイスを装備
- オプションスロット (CAT5、COAX 接続)
- インカムアプリケーションは BASIC/PLUS/PRO の3種類を選択可能
- MediorNet シリーズのリモートコントロールアプリを追加してインカムとリモコン機能を切替運用可能

DSP-2312 Desktop Smartpanel

多機能ユーザーインターフェイスを搭載した小型のデスクトップ型スマートパネル。

本体は12キーとTFTタッチスクリーンLCDを2個装備。電源内蔵。マトリクスとの接続用にAES67/AVBポートを標準装備し、交換可能なヘッドセットXLRコネクタ2個と高品質マイク・プリアンプ、3基のGPIO、ネットワーク接続2基、4W接続1基を装備。RIEDELのスマートパネル用アプリケーション (Intercom Basic/Plus、MediorNet Control、HandsFreeを含む) をサポート。

- 次世代ネットワーク規格 AVB/AES67 対応
- 三脚やマジックアーム取り付け用のねじ孔を底面に用意

DSP-2312



1100 シリーズパネル



RCP-1112



RCP-1128

有機ELカラー表示キー / 8文字表示・漢字4文字表示 / 2ページ / 独立リスンボリューム付 / ガースネックマイク付

- RCP-1112 Control Panel : 1U 12キー
- RCP-1128 Control Panel : 2U 28キー
- DCP-1116 Desktop Control Panel : デスクトップ型 16キー
- ECP-1116 Extension Panel : 1U 16キー



DCP-1116

接続インターフェイス

- Connect IPx8 : インカムシステムのVoIP接続用。8ポートAES、アナログ、コントロールパネル接続の3種類から選択可能
- Connect IPx2 : VoIP接続用。コントロールパネル接続用ポート×2、アナログ4W仕様あり
- NSA-001D : AES3 ↔ AES67変換インターフェイス (1ポート)



Connect IPx8



Connect IPx2



NSA-001D

Digital Partyline Digital 2-Wire Intercom System

- C44 plus System Interface : デジタルパーティーライン2Wインターフェイスユニット。24×24マトリクス、デジタル2W供給用電源内蔵
 - ・小型中継車やサブのマトリクスとして使用可能
 - ・2chデジタルパーティーライン4系統
 - ・アナログ8ポート、AES8ポートを装備
 - ・専用ソフトウェア付属
- C22 System Interface : デジタルパーティーライン2Wインターフェイスユニット。デジタルパーティーライン2ch×2系統
- CR-4 / CR-2 4/2-Channel Master Station : 1U 4/2チャンネルステーション。デジタル2W供給用電源内蔵。独立リスンボリューム付
- C3 Digital Beltpack : デジタルベルトパック2チャンネル。独立リスンボリューム付
- C31 / CI31 Split Box : 1In 3Out分配器。CI31はコールインジケータ付
- CD-2 Desktop User Station : デスクトップ2チャンネルステーション。独立リスンボリューム付
- CW-2 Wall-mount User Station : ウォールマウント2チャンネルステーション。独立リスンボリューム付



C44 plus



CR-4



CD-2



C22



C3



C31



CI31

Bolero Wireless Intercom System

ワイヤレスインカム **Bolero** は、マルチプルダイバーシティ技術とRF反射防止技術で受信能力をさらに強固にするADR(Advanced DECT Receiver)機能、RIEDEL **Artist** との完璧な統合、“タッチ&ゴー”の簡単な操作で行えるベルトパック登録(NFC認証)、そしてワイヤレスベルトパックやワイヤレスキーパネル、あるいは業界初でウォークトーカー(トランシーバー)として使える多機能性を備えます。

Bolero Standalone は **Artist** フレームが不要となり、アンテナはリング構造、あるいは状況に応じてディジーチェーン接続して個別に使うことができます。また、**NSA-002A** スローダウンボックスを使って **Bolero Standalone** を他のインカムシステムと4ワイヤーを介して接続できます。

- ライセンスフリーの1.9GHz帯を利用する次世代DECTワイヤレスインカム
- 3つの運用モード：ベルトパック、デスクトップキーパネル、2ウェイトランシーバー
- 6ch + 専用REPLYキー1chのベルトパック仕様
- 独自の耐マルチパス受信回路技術ADR
- アンテナ毎にベルトパック10台接続可能
- 最大アンテナ100台、ベルトパック60台の接続可
- AES67準拠IPネットワークの分散型アンテナ
- RIEDEL **Artist** との完全な一体化で1対1通信を実現
- Bluetooth接続可能(ヘッドセットとテレフォンハイブリッド)
- 人間工学的かつ頑丈なデザイン
- 最高品質の明瞭な音質



Bolero Beltpack



Bolero Antenna



Bolero Charger



Bolero External Power Supply



NSA-002A

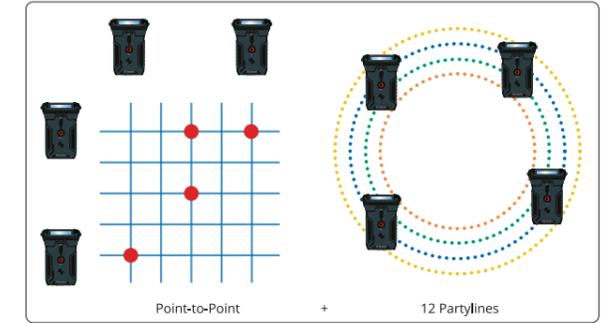


Bolero Charger Rack Mount Kit

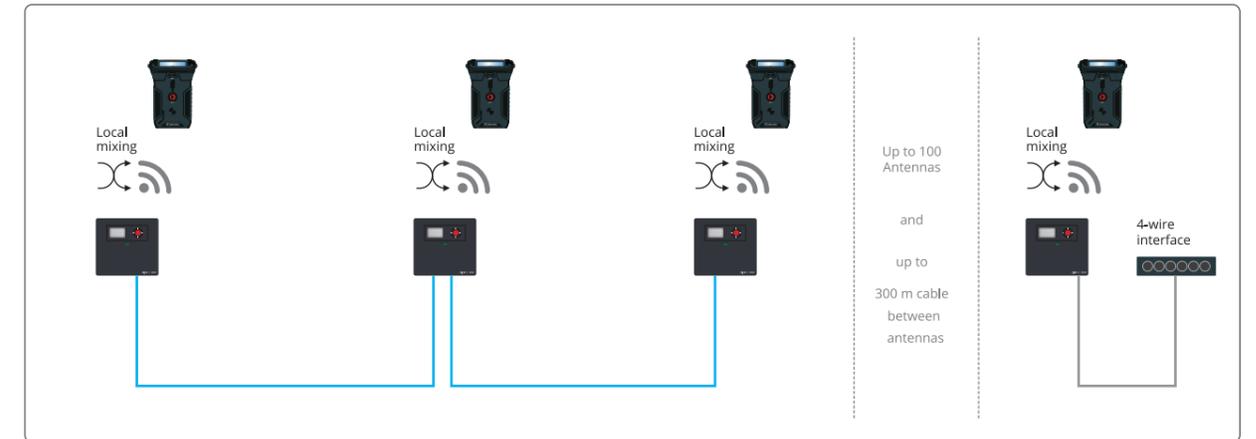
Boleroの新ファームウェアV2.2の主な機能

- 1RFスペース内でベルトパック最大60台まで接続可能
- 1.9GHzの新DECTの6波に対応
- PHS検知機能を向上
- 新ライセンスアプリケーションRF MONITORING
 - タイムスロット使用量の表示 (TIMESLOT MAP)
 - DECT周波数帯の他のDECTシステムを識別
 - 追加できるベルトパック数を表示

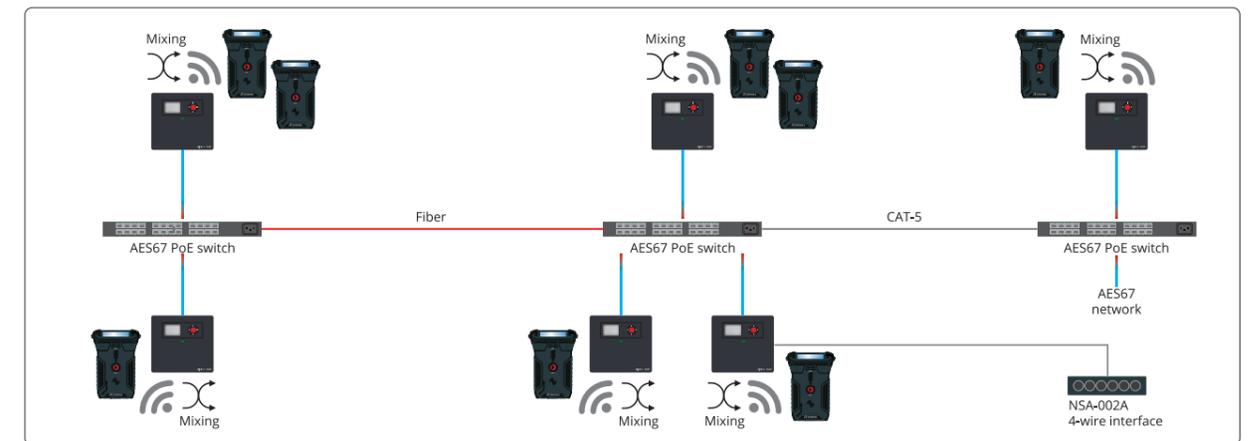
Bolero Standalone



Bolero Standalone - Link



Bolero Standalone - 2110 (AES67)



Bolero Integrated



MediorNet MicroN UHD



MediorNet MicroN UHD

MicroN UHD は次世代の MediorNet 信号伝送およびプロセッシングのデバイス。この新しいノードは RIEDEL の分散型かつソフトウェアデファインドのコンセプトをベースに、より大きな帯域幅、より多くの I/O、より高い解像度、そしてより多くのプロセッシング機能が MediorNet プラットフォームに追加されています。メッシュ・アーキテクチャ上での信号分配用に 400G のバックボーン接続やネイティブ UHD (4K) ワークフロー用の 12G-SDI 信号への対応といった新しい機能が追加され、リンクの冗長化による信頼性の高い運用を可能にします。

- MediorNet SDI ファミリーとシームレスに統合
 - 100G 高速リンク ×4
 - 12G/3G/HD/SD-SDI In×8 および 12G/3G/HD/SD-SDI Out×8
 - 3G/HD/SD-SDI In/Out×8 および 3G/HD/SD-SDI Out×8
 - 3G/HD/SD-SDI In/Out×16 (入出力切り替え可能)
 - SFP ポート ×2 (MADI 用)
 - 同期リファレンス In/Out (BB, Tri-Level, WC)
- ※Multiviewer 機能を今夏実装予定

MediorNet MicroN



MediorNet MicroN

MicroN は音声 / 映像 / データ入出力をフロントパネルに多数配列した多機能インターフェイスです。シンプルな光伝送装置または MADI インターフェイスとして使用したり、MediorNet や MetroN との組み合わせで分散型映像ルーティングシステムを構築可能です。

- SD/HD/3G-SDI×24
- MADI (オプティカル) ×2
- Gigabit イーサネットポート ×1
- シンク入出力 ×2
- 10G SFP×8 + 高速ポート

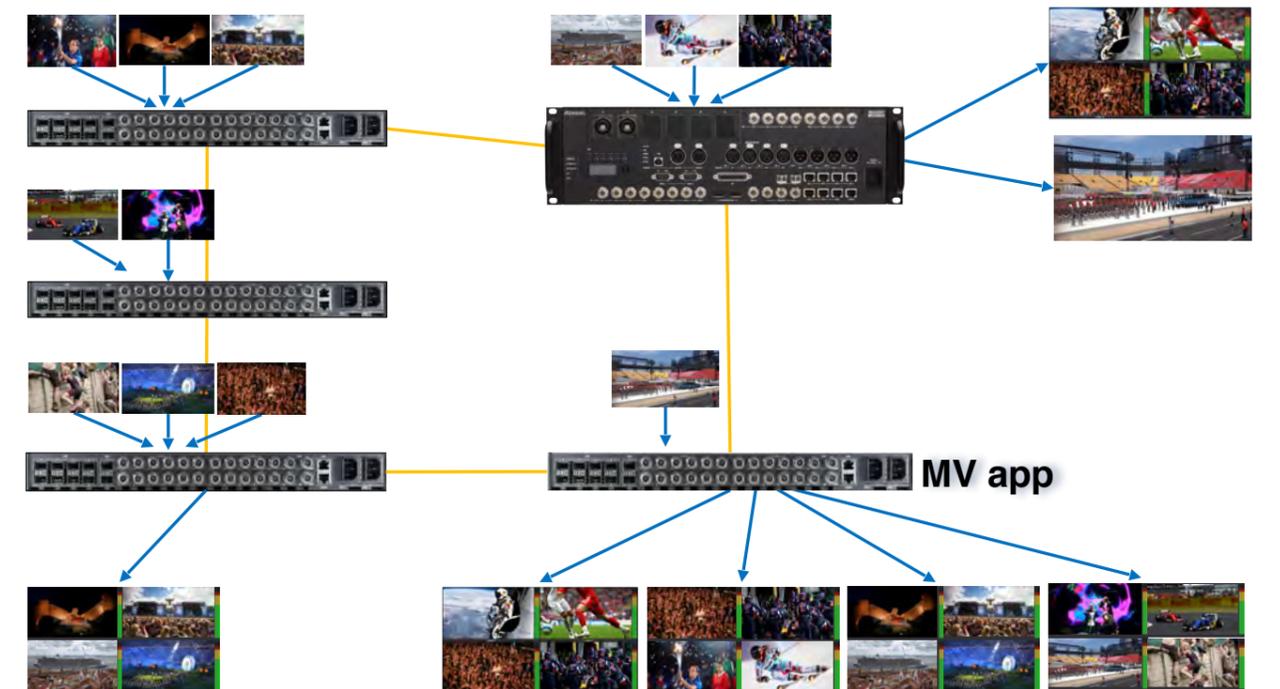
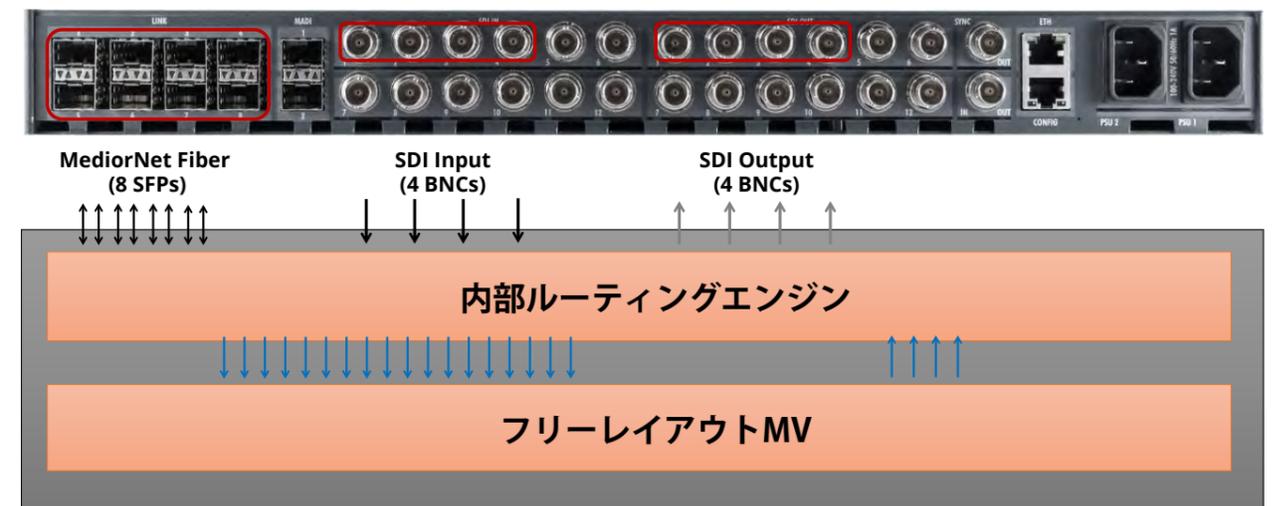
主な接続方法

- **スタンドアロン**：12×12 映像ルーター、SDI-MADI エンベッダー / ディエンベッダー
- **1 対 1**：シンプルな光伝送装置として運用できます。SDI×12/MADI×2/GB イーサネット ×1 を双方向に伝送可能
- **メッシュネットワーク**：MicroN ノードを網目状に接続すると拡張性に富む分散型映像ルーティングを実現
- **MetroN + MicroN**：MetroN を中核として複数台の MicroN を接続。最高 192×192 個の HD-SDI 信号のリダント処理を行う集中映像ルーターとして統合可能

MicroN Multiviewer

専用のマルチビューアアプリケーションを MicroN に追加することで、マルチビューア機能が利用できます。SDI 4 入力 4 出力、最大 4 つのスクリーンに最大 18 分割画面を表示。レイアウトや音声レベル表示、デジタル / アナログ時計など、画面表示は自由に調整可能。

- 最大分割画面数：18
- 最大スクリーン数：4 つの独立したレイアウト
- SDI In (BNC)：4
- SDI Out (BNC)：4
- MADI：2
- タリ制御：TSL 5.0
- ウィジェット：タリ、アンダーモニター表示、音声レベルメーター、複数の時計とカウンター
- 時計のレイアウト：アナログ & デジタル
- 時計の情報源：System Time、System TC、LTC (5x)、NTP
- アップダウンカウンター：10 個のカウンターを個別に配置可能
- マルチビューア設定方法：MediorWorks
- 制御プロトコル：TSL 5.0 Ember+



MediorNet Compact Fiber-Optical Network Solution



MediorNet Compact PRO

映像・音声・通信データの統合・分配・信号処理に特化したシンプルな構成の柔軟なリアルタイム光ネットワークを構築できる次世代のステージボックス。50 Gbit/sの帯域幅を持ち、12のHD-SDI信号や複数のMADI信号、イーサネット信号、何百チャンネルもの音声回線、インカムポートを双方向に伝送することが可能です。中継車、スタジオ、ライブイベント会場等々、あらゆる設備の伝送を合理化できる理想的な製品です。

- 機器構成の異なる「BASIC」「PLUS」「PRO」の3つのフレームを選択可能。
- 同期可能な光多重1対1リアルタイムネットワーク
- ネットワークポロジは組み合わせ自由、一対多を含め柔軟な構成が可能
- 50 Gbit/sの帯域幅（実質39 Gbit/s）
- 信号処理機能を実装：フレームシンクロナイザー、エンベッダー/ディエンベッダー、テストパターンジェネレーター、オンスクリーンディスプレイ、タイムコードインサージョン
- オプションボード：MN-C-OPT-SDI-4I4O（SDI In×4、SDI Out×4）、MN-C-OPT-SDI-8I（SDI In×8）、MN-C-OPT-SDI-8O（SDI Out×8）、MN-C-OPT-HDMI-2I2O（HDMI In×2、HDMI Out×2）、MN-C-OPT-HDMI-4I（HDMI In×4）、MN-C-OPT-HDMI-4O（HDMI Out×4）

MediorNet Compact PRO仕様

映像入出力	3G/HD/SD-SDI 入力×4、3G/HD/SD-SDI 出力×4
オプションボード用スロット	×1
DisplayPort 出力	×2
AES3/EBU	×4
アナログ音声入出力	入力×4、出力×4
RockNet インターフェイス	×1
MADI (SFP)	×2
イーサネット	×3
GPI	GPI 入出力×10（個別切替可能）
シリアル (RS232、RS422、RS485)	×2
同期入出力	入力×1、出力×3

MediorNet MetroN



MediorNet MetroN

MetroNは1ポートあたり10GBまたは4.25GB、10GB×64ポートで最大320GBのルーティング能力を持ったファイバークォーラーターです。

MetroNを用いることによって、帯域制限の心配をすることなく強固で高リダンダンシーのルーティングシステムをMediorNet、MicroNファイバーネットワークに付加することができます。設置も容易となり急な設定変更にも容易に、柔軟に対応できるようになります。

MediorNet ファーバーネットワークの伝送帯域を飛躍的に拡大することができるため、スタジオ間や中継車のネットワークを構築する際に強力な武器となります。

- 1ポートあたり最大10 Gbit/s
- 最大320 GBのルーティング能力
- 電源2重化、FANモジュール化
- 高速ビデオスイッチング遅延40 ms以下
- Sync In×1、Sync Out×2
- Gigabitイーサネットポート×2
- マウントはフロント/リア差し替え、落とし込み対応
- 省ラックスペース、省コスト化

MediorNet VirtU



MediorNet VirtU

IP インフラストラクチャ・プラットフォーム VirtUは、わずか1RUでRIEDEL MuoN SFPプロセッサの非常に高密度なアレイを提供。フレームはバルクゲートウェイとして、非常に高密度なプロセッシングユニットとして、もしくはゲートウェイとプロセッシングの組み合わせで使用することが可能です。このモジュールプラットフォームはユーザーのニーズの変化に合わせて、キーとなる高度なゲートウェイとプロセッシング機能を段階的に構築することができます。

- 8つの独立したクラスターにはMuoN SFP×4と40G/100GのST2022-7ヒットレス・リダンダンシー用アップリンクのデュアルセット
- MuoN SFPの任意の組み合わせが可能（クラスターホスト毎のデータレートは同じである必要有）
- 非常に高い信頼性：QSFPからSFPへのフルパッシブ・シグナルパス、電源の冗長化

MediorNet MuoN



MuoN A1

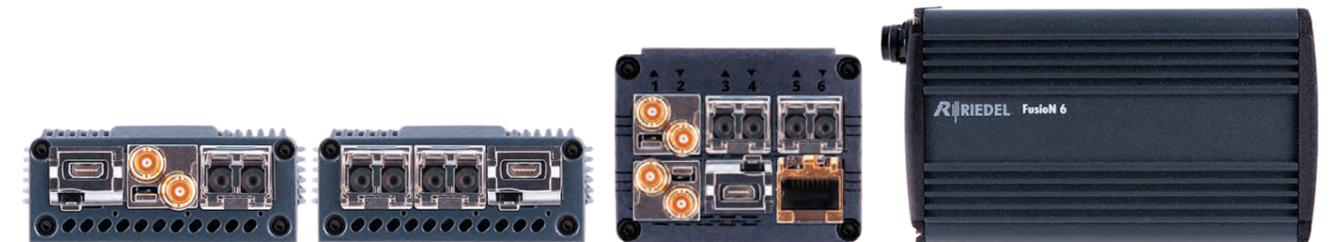


MuoN B10

MuoN SFPは、VirtUフレーム内やCOTS IPスイッチ内で使用できるプラグイン可能なゲートウェイおよびプロセッシングデバイス（MuoN Aシリーズ）。ソフトウェアデファインド・ハードウェアであるMuoNはBNCや光ファイバー、HDMI（1.4および2.0）など、さまざまな入出力構成で使用可能です。MuoN SFPは、さまざまなアプリケーションで構成することができ、ソフトウェアライセンスを簡単に変更するだけで、同じデバイスがアップ/ダウン/クロスコンバーターやJPEG-2000/XSエンコーダーまたはデコーダー、オーディオルーター、さらには16×1マルチビューワーとして使用することが可能です。

- MuoN SFPあたり最大4つのアプリスペースを持つソフトウェアデファインドのプラットフォーム
- 様々な入出力ポート構成、または外部コネクタなしのIP-to-IP SFPとしても利用可能
- ゲートウェイ、UDX、マルチビューイング、エンコード/デコードなどのパワフルなソフトウェアを切り替えて、さまざまな用途に使用することが可能。* フレームシンクやクリーンスイッチングアドオンのオプションあり
- 極めてコンパクトで軽量、低消費電力
- フィールドのアップグレードが可能

MediorNet FusioN



FusioN 3

FusioN 6

コンパクトなスタンドアローンI/OおよびプロセッシングデバイスであるFusioNシリーズ。さまざまなソフトウェアを構成することで、IPゲートウェイやエンコーダー/デエンコーダー、IPマルチビューワーとして機能します。小型で消費電力が低いいため、あらゆるプロダクション環境で高い効率性を実現します。

- ST2022-7 ヒットレス・リダンダンシーのための2系統のファイバーリンクをサポートする3つまたは6つのSFPスロットを備えた小型プロセッシング・フレーム
- UHD/HD/SDフォーマットのオートセンシング
- 標準的なモニターの背面に取り付け可能、または2RUブラケットフレームに装着することで最大9/18フレームまで使用可能
- ゲートウェイ、UDX、マルチビューイング、エンコード/デコードのアプリに、オプションのUHD、フレームシンク、クリーンスイッチングのアドオンなど、強力なプロセッシング機能



LWB-24 / LWB-72 マルチチャンネル光ワイヤリングシステム

あらゆる現場の要求を追究して LWB (Lightwinder Broadcasting) は根本から進化しました。600 台以上の国内導入実績を持つ光ファイバーシステム LWB に待望の次世代機が登場です。

■ スタジアムや広大なフィールドをカバーする 24 台接続 / 2048 チャンネル伝送

最大接続ユニット数は 24 台に、最大伝送チャンネル数は 2,048 チャンネル (48 kHz デジタル音声換算) に大幅拡大 (LWB-16M/LWB-64 は 16 台、256 チャンネル)。スタジアム全体やゴルフ場などの広大なフィールドも 1 つのシステムでカバーすることができます。さらに、出先向けユニット LWB-24 は、LWB-16 と同等サイズのまま、モジュールスロットを 6 としました。

■ 効率性を高めるステレオペア単位でのサンプリング周波数設定

サンプリング周波数は 48 kHz、96 kHz、192 kHz (いずれも 24 ビット) に対応。特徴はステレオペア毎にサンプリング周波数を設定できることで、例えば特定のモジュールのみ 192 kHz とし、残りのモジュールは 48 kHz とするような効率の良い運用方法が可能です (この場合の 48 kHz と 192 kHz は同期している——正確に 4 倍または 1/4 の周波数となっている——必要があります)。

■ マルチドロップルーティング可能な内蔵 4 チャンネル HD-SDI 映像モジュール

入出力切替式の 4 チャンネル HD-SDI 映像モジュールを内蔵し、最大で 4 チャンネルの HD-SDI 信号を送ることができます (2 チャンネル 3G-SDI としての使用も可能)。音声信号と同様に 1 対多のマルチドロップルーティングにも対応し、さらにエンベデッド音声の各チャンネルを他モジュールの音声チャンネルとルーティングすることも可能 (オプション)。

■ シグナルディレイ機能

シグナルディレイ機能を標準搭載。シグナルディレイは任意のチャンネルに接続でき、映像の遅延に音声を合わせるために十分な遅延用バッファを有しています。

■ 細部まで利便性を追求した仕様

従来機への要求項目のみならず、これからの LWB に必要と考えられる機能を細部にまで至り多数取り入れた仕様となっています。GbE 伝送、電源監視機能、レベルメーター、BB 等多様な同期信号の出力、入力同期クロックホールド機能、トーンジェネレーター等が標準搭載され、モジュールスロットを消費することなく MADI 入出力の追加を可能 (オプション) としました。表示器に 128×128 ドット有機 EL を採用することでローカル操作を容易にし、GUI アプリケーション LwcV3 については、複数ユニットに PC を接続して、それぞれの PC で同時に起動できるなど、コントロール / モニター面でも高い利便性を実現。

■ 互換性 / 新モジュール / レトロフィットキット

LWB-24/LWB-72 には LWB-16/LWB-64 用モジュールを装着可能*1。さらに出先ユニット (LWB-24) 用 8ch モジュール、高音質 LINE OUT モジュール、入出力切替式 AES3 モジュール等の新モジュール*2もリリース。また、LWB-16/LWB-64 を LWB-24/LWB-72 と接続するためのレトロフィット・キットを用意。

* 1) 各モジュールのファームウェア (FPGA プログラム) のアップデートが必要となります。

* 2) 新モジュールはサンプリング周波数 192 kHz に対応します。LWB-16/LWB-64 に装着することはできません。



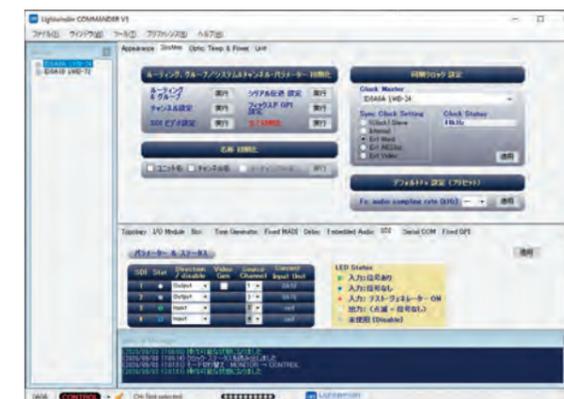
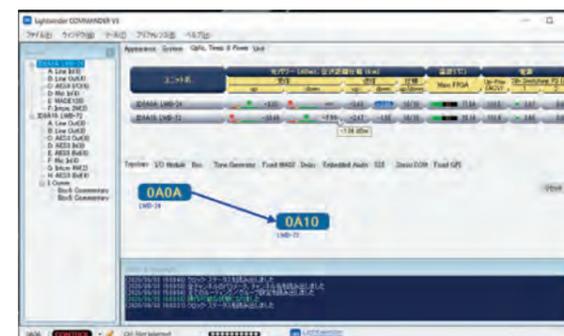
LWB-24



LWB-72

■ 柔軟かつカスタムなシステム構成をサポートする豊富なオプション

- オーディオ用カード：MIC IN、LINE IN、LINE OUT、AES3 IN、AES3 OUT、AES3id IN、AES3id OUT、AES3 I/O、MADI IF
- インカム用カード：2W INTERCOM、2W INTERCOM (Dual Channel 対応)、4W INTERCOM
- 映像 / データ伝送：3G-SDI / HD-SDI (UP ストリーム、DOWN ストリーム 2 系統)、ARCNET/SWITCHER REMOTE、GPIO
- コメンタリー & コミュニケーションシステム：COMM モジュール、コメンタリー BOX、リモート BOX、オーディオ BOX
- 200 V 系電源伝送ユニット
- Lightwinder Commander V3 GUI ソフトウェア



GUIソフトウェア

ADS-72 オーディオディストリビューションシステム

LWB-16/64 シリーズの豊富な I/O モジュールを使用することで ADA、DDA、フォーマットコンバーターとして運用できるスタンドアロン機。もちろん COMM モジュールや MADI モジュールにも対応。スタンドアロンのコメンタリー I/O や MADI ルーターとしても使用可能です。

- LWB シリーズのカード資産を利用可
- 電源二重化 (アラーム出力端子あり)
- 最大 9 スロット
- GUI ソフトウェア Lightwinder Commander V2 接続可能



ADS-72 のモジュール構成例：フロント接続タイプのモジュールを使用



ADS-72 のモジュール構成例：リア接続タイプのモジュールを使用

System Extensions システム拡張ユニット



CB-195 CWDW 8 映像伝送ユニット——上：リア接続タイプ、下：フロント接続タイプ



200V 昇圧電源伝送ユニット——上：200V 昇圧ユニット、下：出先 100V 電源取出しユニット

LWB コメンタリー&コミュニケーションシステム

コメンタリー&コミュニケーションシステムは LWB-24/LWB-72 に COMM モジュールを装着し、そこにコメンタリー BOX を接続することによって LWB システムにコメンタリーおよびコミュニケーション（連絡マトリクス）の機能を追加するものです。

これまで現場の音声と映像を伝送するのに使われていた LWB システムに放送席のアナウンサーやゲスト解説者のコメンタリーラインも伝送できるようになります。

※ADS-72 に装着してスタンドアロンでの使用も可能です。

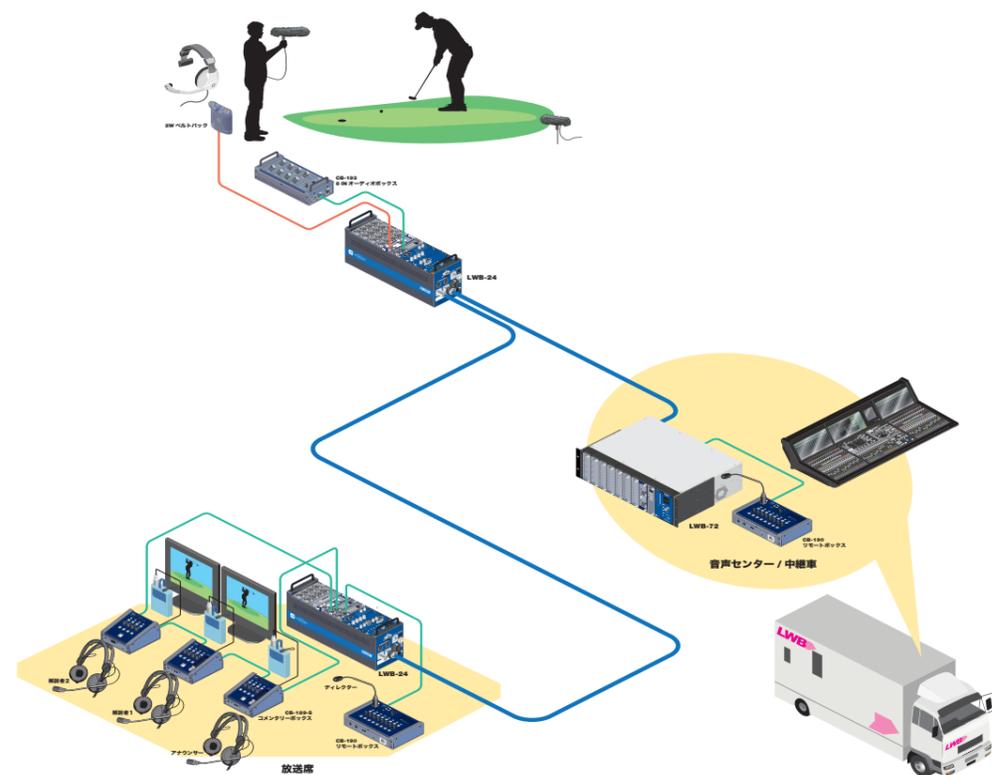
- コメンタリー BOX のチャンネルと LWB の音声モジュールのチャンネルとを任意にルーティング可能
- LWB を 1 台のみ利用した小規模システムから、LWB 複数台を光ファイバー接続する中〜大規模なシステムまで柔軟に対応
- MIC チャンネルパラメーター（ゲイン等）の遠隔操作が可能
- コメンタリー BOX をループ接続することにより、コメンタリー/コミュニケーション回線をリダンダント化可能（各コメンタリー BOX に外部電源を接続する必要があります）
- コメンタリー BOX の各チャンネルに設定されたパラメーターは再起動時に復元。コメンタリー BOX のホットプラグ/アンプラグにも対応
- COMM モジュールにオーディオ BOX を接続することにより、オーディオ入出力チャンネルを増設可能
- COMM モジュールにリモート BOX を接続することにより、8×8 マトリクス内蔵の指令機としてコメンタリー BOX やインカム機器との連絡線構築が可能



CB-1885



CB-1905



LWB コメンタリー&コミュニケーションシステム運用例

AVT Audio Video Technologies

MAGIC TH Series High Performance Telephone Hybrid System

MAGIC TH2 plus Telephone Hybrid



MAGIC TH2plus テレフォンハイブリッドは POTS 回線を 2 系統、ISDN BRI (S0) 回線を 1 系統、将来 VoIP として使用可能な LAN 回線を 1 系統提供します。このシステムはアナログおよびデジタルオーディオインターフェイス（ユーザー設定可能）を備えており、3 つのモード（POTS、ISDN、IP）すべてにおいてダブルハイブリッドとして運用可能です。

- ・POTS、ISDN、IP テレフォンハイブリッド：アナログおよびデジタルオーディオインターフェイスを備えたダブルハイブリッド
- ・デジタル信号処理：各チャンネルにデジタルエコーキャンセラー、自動ゲイン制御（AGC）エクスパンダーを装備
- ・PRETALK 機能：2 基までのハンドセットまたはヘッドセットを接続可能
- ・HOLD 信号：HOLD 信号（保留音）の録音ができ、あるいは HOLD 信号として ON AIR 信号を使うことも可能
- ・2 台までの外部キーパッドを接続可能
- ・スクリーニング機能を備えた使いやすい PC ソフトウェア

MAGIC TH2 plus RM Telephone Hybrid



MAGIC TH2plus RM は、電源内蔵の MAGIC TH2plus の 19 インチバージョンで、2 系統の POTS インターフェイス、ISDN BRI を 1 系統と VoIP 用の LAN インターフェイスを 1 系統、そしてアナログおよびデジタルオーディオインターフェイス（設定可能）を提供します。さらに PC ソフトウェアを使うことなく簡単に操作できるように MAGIC TH2plus RM は色付きの前面キーパッドを備えています。

- ・POTS、ISDN、IP Talkshow システム：アナログおよびデジタルオーディオインターフェイスを備えたダブルハイブリッド
- ・デジタル信号処理：各チャンネルにデジタルエコーキャンセラー、自動ゲイン制御（AGC）エクスパンダーを装備
- ・PRETALK 機能：2 基までのハンドセットまたはヘッドセットを接続可能
- ・HOLD 信号：HOLD 信号（保留音）の録音ができ、あるいは HOLD 信号として ON AIR 信号を使うことも可能
- ・外部キーパッドを 2 台まで接続可能
- ・スクリーニング機能を備えた使いやすい PC ソフトウェア
- ・PC ソフトウェアを使うことなく素早く簡単に操作できる色付きの前面キーパッド

MAGIC TH6 Telephone Hybrid



MAGIC TH6 は最高 6 系統のコラー（電話相手）回線用の 6 基の POTS ラインインターフェイスを提供します。本システムは 2 系統のアナログおよび 4 系統のデジタル（AES/EBU×2）音声回線を内蔵しており、さらに本機背面で 2 箇所の PRETALK ロケーションを組み込むために 2 個のハンドセット/ヘッドセット接続用の 2 基のインターフェイスが利用できます。MAGIC TH6 は Voice-over-IP テレフォンハイブリッドとしても使用可能です（オプション）。

- ・各チャンネルにデジタルエコーキャンセラーと自動ゲイン制御（AGC）とエクスパンダーを装備
- ・PRETALK および ON AIR 用のカンファレンス機能
- ・PRETALK 用に 2 基のハンドセット/ヘッドセットインターフェイス
- ・LAN インターフェイスを介する Windows PC ソフトウェアを使ったシステム操作
- ・6 個の GPIO 接点と 4 個のリレーを介したシステム操作
- ・最高 2 台の外部 MAGIC TH6 キーパッドを接続可能
- ・オプションで VoIP テレフォンハイブリッドに拡張可能

※AES67 / RAVENNA 対応モデルあり



MAGIC TH2 Keypad : MAGIC TH2 POTS 用液晶搭載キーパッド

PHONAK roger

注) 写真の縮尺率は一定ではありません

Phonak Roger システムはライセンスフリーの 2.4 GHz 帯を利用したデジタルワイヤレスイヤピースコミュニケーション(送り返し)システムです。ケーブルやベルトパックが一切不要な「プラグ & プレイ」の Roger Earpiece は、あらゆる外耳道にフィットするように特別に成形され、その小さなシェルの中にすべての機能を組み合わせており、装着していることが周囲から見えません。

Roger™ Earpiece



Phonak 社補聴器システムの技術を用いたイヤピース

- 全長 18 mm のマイクロサイズ
- 重量 1.3 g の超軽量設計 (バッテリー含)
- 最大 100 dB SPL
- 1 つのネットワーク内に無限に接続可能
- 簡単な取り扱いとクリーニング
- 最大 12 時間のバッテリーライフ
- 通信ネットワーク範囲外になった際には警告音で通知

Roger™ TouchScreen Mic



ライセンスフリーの 2.4 GHz 帯を利用

- 接続している個々の Earpiece の音量を独立制御可能
- マイク内蔵
- タッチスクリーンメニュー (日本語表示可能)
- TouchScreen Mic と Earpiece のみでの通話も可能なサブネットワーク設定あり
- 最長 10 時間の動作時間
- 作動範囲 15 ~ 40 m
- 充電式リチウム電池で駆動
- 寸法 / 重量 : 104×55×16 mm/94 g

Roger™ BaseStation



ライセンスフリーの 2.4 GHz 帯を利用 ● XLR / 6.3 mm バランス音声入力(コンボ端子)

- LED 入力レベルメーター
- 音量調節範囲 -14 ~ +12 dB
- 有効範囲 15 ~ 40 m
- ウォールマウント / ラックマウント可能
- 寸法 / 重量 : 132×132×44 mm/488 g

Roger™ Repeater



BaseStation ⇄ Earpiece 間の接続距離を延長させたい場合や死角となるエリアがある場合に使用

- TouchScreen Mic と同一サイズの筐体を用いた設計



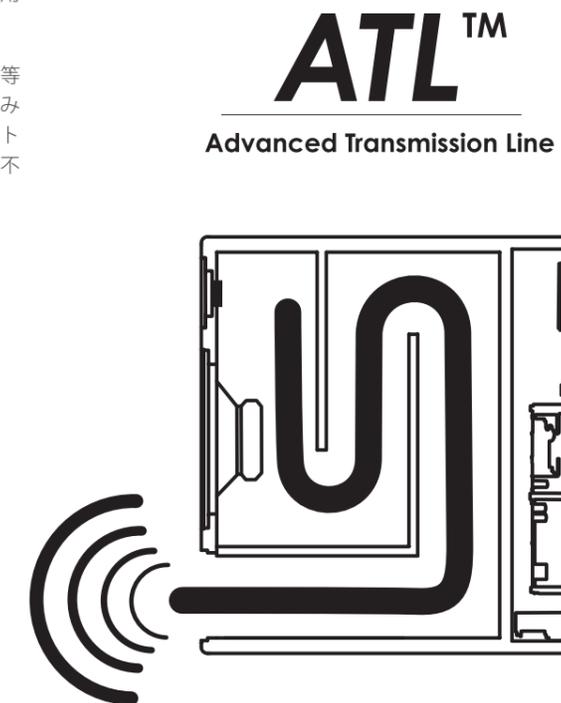
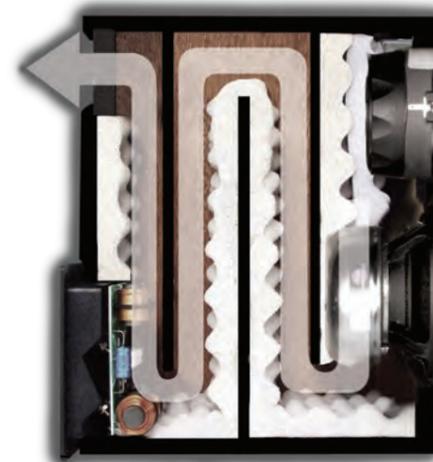
注) 写真の縮尺率は一定ではありません

PMC®

ATL™ Advanced Transmission Line

PMC サウンドの核となる低域補強テクノロジー。すべての PMC スピーカーに採用されています。

ベースドライバーの背面から放射される不要な周波数帯域を様々な素材の吸音材等で最適な音響処理を施した「長いトンネル」で吸収し、非常に低い周波数帯域のみを通すことで、前面のポートからベースドライバーと同相の音声を出力し、ポートをあたかも第二のベースドライバーのように機能させ、またミッドロー帯域への不要な倍音成分を低減させる効果も備えています。



result6 Compact Active 2-Way Nearfield Reference Monitor Speaker

result6 は DSP の力を借りずにニュートラルで信頼できる PMC サウンドを実現します。それは、高解像度とディテール、ATL™による正確で伸びた低音、あらゆる音量で一貫した音色バランス、そして広いディスページョンとスイートスポットです。

ツイーターの左右にある「D-Fins」と呼ばれる独特な突起が、エンクロージャーのエッジの影響を除去し、滲みがない高域と広いスイートスポットを提供します。

result6 :

フィニッシュ色 : RAL 7022 ● 周波数特性 : 45 Hz ~ 22 kHz ● 最大音圧レベル : 112 dB @ 1 m ● ATL™実効長 : 1.5 m ● クロスオーバー周波数 : 2 kHz ● ドライブユニット : HF 27 mm ソフトドーム、LF 170 mm (6.5") ドープ塗布天然繊維製 ● 入力インピーダンス : > 8kΩ ● 入力コネクター : バランス式アナログ XLR (ピン2ホット) ● チャンネル毎のアンプ出力パワー : HF 65 Wrms、LF 100 Wrms ● 寸法、重量 : 380H×199W×360D mm、8 kg



IB1S-AIII Active 3-Way Midfield Reference Monitor Speaker

IB1S-AIIIはミッドフィールド環境に適した3ウェイアクティブスピーカーです。レコーディングやミキシングを行うプロジェクトスタジオ、ホームスタジオなどをはじめ、マスタリング、ブロードキャスト、ポストプロダクションなどで高いレベルのモニター環境を提供します。ソフトドームのツイーターとスクーカーは非常に高い解像度と明瞭で広いリスニングエリアを提供します。ウーファーはラージモニターQB1-Aに搭載されている10インチカーボンファイバー(Nomex®)フラットピストンベースドライバーを搭載。

ATL™を搭載し、サイズを超えた低域再生能力と他に類をみないクリアな低域を提供します。

IB1S-AIII：フィニッシュ色：スタジオブラック●周波数特性：25 Hz～25 kHz ●ATL™実効長：2.4 m ●クロスオーバー周波数：380 Hz、3.8 kHz ●ドライブユニット：LF 250 mm (10") PMC カーボンファイバー /Nomex® ピストンドライバー、MF 75 mm 布製ドーム、HF 27 mm 布製ソフトドーム●入力インピーダンス：16.5 kΩ ●入力感度：17 dB～37 dB 可変●入力コネクター：バランス式アナログ●寸法、重量：740H×330W×510D mm、45 kg

**IB2S-AII** Active 3-Way Midfield Reference Monitor Speaker

IB2S-AIIはPMCのラージモニターのあらゆる特徴をより小さな筐体で再現した3ウェイアクティブモニターです。この機種はステレオおよびサラウンドでのハイエンドなリファレンスマニタリングに最適です。付属のパワーアンプPower 2400とDSPマネジメント/パワーアンプControl 1200各1台がIB2S-AII 1台を駆動させます。ATL™を活用し、DSP制御されたクラスDアンプが滑らかに制御された高解像度の低域応答をもたらします。3ウェイすべてのドライバーはQB1-Aと共通であるため、小規模のスタジオでもQB1-Aと同じ音質でモニタリングが可能となります。

IB2S-AII：フィニッシュ色：スタジオブラック●周波数特性：25 Hz～25 kHz ●最大音圧レベル：125 dB (@1 m) ●ATL™実効長：2.4 m ●クロスオーバー周波数：380 Hz、3.8 kHz ●ドライブユニット：LF 250 mm (10") PMC カーボンファイバー /Nomex® ピストンドライバー、MF 75 mm ソフトドームドライバー、HF アコースティックラジエーター付き PMC 34 mm ソフトドームツイーター●入力コネクター：バランス式アナログ、デジタル AES3 ●入力感度：+4～+20 dBu 可変●寸法、重量：745H×330W×564D mm、46.5 kg

**MB3-A** Active 3-Way Large Scale Main Monitor Speaker

MB3-Aは中規模レコーディングスタジオからマスタリング、ポストプロダクションのメインモニターとして最適であり、また大型マルチチャンネルシステムのフロント及びサラウンドのあらゆるチャンネルスピーカーにも適したスピーカーです。

他に類を見ない12インチRadial™ベースドライバーに加え、QB1-Aと共通のPMC製75mmスクーカー及びツイーターを搭載することで、ATL™技術と相まって20 Hz～25 kHzの極限までスムーズな周波数特性と最大126 dBの音圧レベルを実現。こうした特徴を、原音に対する歪みの付加や解像度の損失無しに提供することで、モニタリングを正確にするだけでなく、長時間の作業でも疲れることはありません。

PMCの他の機種と同様に、センターチャンネル仕様(MB3-C-A)もラインナップしています。またLFE信号をメインチャンネルにサミングすることが可能な独自のアンプ設計により、サブウーファーを別途用いることなくサラウンドシステムを組むことが可能。本機は広い周波数特性と高い音圧レベルを兼ね揃えた機種ならではの、ステレオからマルチチャンネルまであらゆるニーズに対応可能な柔軟性を持っています。

MB3-A：フィニッシュ色：スタジオブラック●周波数特性：20 Hz～25 kHz ●最大音圧レベル：126 dB (@1 m) ●ATL™実効長：3 m ●クロスオーバー周波数：380 Hz、3.8 kHz ●ドライブユニット：LF PMC 310 mm (12") Radial™ドライバー、MF PMC 75 mm ソフトドームドライバー、HF アコースティックラジエーター付き PMC 34 mm ソフトドームツイーター●入力インピーダンス：20 kΩ バランス●入力感度：+4～+20 dBu 可変●入力コネクター：バランス式アナログ、デジタル AES3 ●チャンネル毎のアンプ出力パワー：LF 1200 Wrms、MF 550 Wrms、HF 275 Wrms ●寸法、重量：870H×380W×535D mm、49 kg

**BB6-A** Active 3-Way Large Scale Main Monitor Speaker

PMCの創業当初からラインナップに存在して、また現在に至るまで高い人気を誇るBB5の唯一無二な功績を引継ぎ、BB6はPMC純正のクラスDアンプとDSPを新たに実装することで、BB5の高精細な表現力に加えて更なるアンプ出力とより柔軟なスピーカーセッティングを可能にしました。

PMCの中でも最大を誇る15インチRadial™ベースドライバーと、同じく最長の4mのATL™によって17 Hz～25 kHzの真に広大な周波数レンジを実現。最大音圧に関しても128 dBを実現して、QB1-Aに迫るパワー感を誇り、大型レコーディング、ミキシング、マスタリングスタジオから大規模ブロードキャストアプリケーション用としてまであらゆる用途に対応します。

また本機もセンターチャンネル仕様(BB6-C-A)及びベースドライバー専用キャビネットを追加した仕様(BB6 XBD-A)のラインナップを用意。マルチチャンネルシステムからより大きなヘッドマージンを備えた更に出力に余裕のあるシステムまで、様々な構築することが可能です。

BB6-A：フィニッシュ色：スタジオブラック●周波数特性：17 Hz～25 kHz ●最大音圧レベル：128 dB (@1 m) ●ATL™実効長：4 m ●クロスオーバー周波数：380 Hz、3.8 kHz ●ドライブユニット：LF PMC 380 mm (15") Radial™ドライバー、MF PMC 75 mm ソフトドームドライバー、HF アコースティックラジエーター付き PMC 34 mm ソフトドームツイーター●入力インピーダンス：20 kΩ バランス●入力感度：+4～+20 dBu 可変●入力コネクター：バランス式アナログ、デジタル AES3 ●チャンネル毎のアンプ出力パワー：LF 2400 Wrms、MF 550 Wrms、HF 275 Wrms ●寸法、重量：1040H×432W×790D mm、73 kg

**QB1-A** Active 3-Way Large Scale Main Monitor Speaker

QB1-AはATL™技術とレーザーによる最新のドライバー測定技術を惜しみなくつぎ込んだスタジオ向けフラッグシップモデルです。10インチカーボンファイバー(Nomex®)フラットピストンベースドライバー4本

によって最大音圧レベル132 dB (@1 m)を実現。最新鋭のオンボードDSPは、ドライバーユニットの最適化やEQ、さらには洗練されたクロスオーバーネットワークをもたらします。付属のパワーアンプPower 2400 2台とDSPマネジメント/パワーアンプControl 1200 1台を駆動させます。



QB1-A：フィニッシュ色：スタジオブラック●周波数特性：20 Hz～25 kHz ●最大音圧レベル：132 dB (@1 m) ●ATL™実効長：2.7 m ●クロスオーバー周波数：380 Hz、3.8 kHz ●ドライブユニット：LF PMC カーボンファイバー /Nomex® 250 mm (10") ピストンドライバー ×4、MF PMC 75 mm ソフトドームドライバー、HF アコースティックラジエーター付き PMC 34 mm ソフトドームツイーター●入力インピーダンス：20k バランス●入力感度：+4～+20 dBu 可変●コネクター：バランス式アナログ、デジタル AES3 ●チャンネル毎のアンプ出力パワー：LF 4,000 Wrms、MF 550 Wrms、HF 275 Wrms ●寸法、重量：820H×1,092W×523D mm、150 kg

IB1S 3-Way Midfield Reference Monitor Speaker

IB1S は様々な環境に適応する極めて柔軟な3ウェイパッシブモニタースピーカーで、特にハリウッドのフィルムスコアリング/ポストプロダクションでは伝説的になっています。高域及び中域には広範囲にわたって滑らかな高域特性を生み出すソフトドーム型天然素材ユニットを使用。さらに低域には特許取得済みのPMC 250 mm (10インチ) カーボンファイバー/Nomex® フラットピストンドライバーを備えています。このフラットドライバーは高い動作性を備えながらも、コーンの破壊につながる可能性のある歪を排除して高精度な音を再生します。センターチャンネル仕様 (IB1SM-C) もラインナップにあるため、サラウンド構成にも対応可能です。

- 横置きセンターチャンネルモデル (IB1SM-C、IB2S-C)
- 最適動作の高さ 840 mm になるカスタムスタンド (別売)
- 推奨パワーアンプ: 500 W まで

IB1S: フィニッシュ色: ネオブラック ● 周波数特性: 25 Hz ~ 25 kHz ● ATL™実効長: 2.4 m ● クロスオーバー周波数: 380 Hz, 3.8 kHz ● ドライブユニット: LF 250 mm (10") PMC カーボンファイバー/Nomex® ピストンドライバー、MF 75 mm ドープ塗布繊維製、HF 27 mm 布製ソフトドーム ● 入力インピーダンス: 定格 4Ω ● 入力感度: 89 dB、1 W @ 1 m ● 入力コネクター: 4 mm ソケットの3ペア (Tri-wire または Tri-Amp) ● 寸法、重量: 740H×330W×465D mm、36 kg



IB2S 3-Way Midfield Reference Monitor Speaker

IB2S は IB1S のドライバー構成に変更を施したもので、PMC 製大口径 75 mm ソフトドームコーカーユニットの追加によって、筐体サイズを増やすことなく大型モニターのレベルに匹敵するまで精度と明瞭さを高めています。

- 横置きセンターチャンネルモデル (IB2S-C)
- 最適動作の高さ 840 mm になるカスタムスタンド (別売)
- 推奨パワーアンプ: 500 W まで

IB2S: フィニッシュ色: ネオブラック ● 周波数特性: 25 Hz ~ 25 kHz ● ATL™実効長: 2.4 m ● クロスオーバー周波数: 380 Hz, 3.8 kHz ● ドライブユニット: LF 250 mm (10") PMC カーボンファイバー/Nomex® ピストンドライバー、MF 75 mm 布製ドーム、HF 27 mm 布製ソフトドーム ● 入力インピーダンス: 定格 4Ω ● 入力感度: 89 dB、1 W @ 1 m ● 入力コネクター: 4 mm ソケットの3ペア (Tri-wire または Tri-Amp) ● 寸法、重量: 740H×330W×465D mm、41 kg



ci series On-wall and In-wall Reference Passive Monitor Speaker

ci シリーズはステレオおよびイマーシブフォーマットの再生に最適です。奥行き 10 ~ 15 cm の筐体からは想像出来ないようなダイナミクス、そして広大なヘッドルームを提供。ci140 と ci140sub を除くすべてのモデルは Qikfire™、ベゼルレスグリル、スタイリッシュなキャビネットスリーブにより、壁の内側または外側に設置することができます。

In-wall mounting: Qikfire™ インウォールマウントシステムはドライバーをひねるだけでラウドスピーカーを所定の位置に固定することができる、スプリング式のマウントシステムです。取り外しも取り付けと同じように、簡単にひねるだけです。*Qikfire は ci30、ci45、ci90slim、ci65 に搭載

On-wall mounting: オンウォールマウンティングも、ピンポイントでレベル調整ができるように設計された付属のインターロッキングブラケットを使って簡単に行うことができます。ci30、ci45、ci90slim、ci65 では、オプションのホワイトまたはブラックのマウンティングスリーブをキャビネットの周囲に取り付けて、エレガントで控えめなオンウォール・ラウドスピーカーにすることができます。



左から: ci140sub、ci140、ci90slim、ci65、ci45、ci30

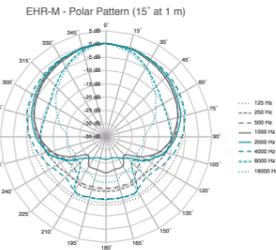


トライアングルカプセルメンブレン

EHR-M Studio Condenser Microphone



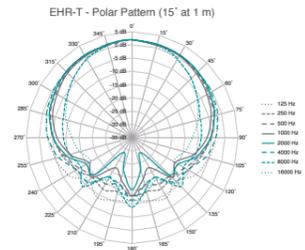
楽器 / ヴォーカル録音用スタジオコンデンサーマイク。特許取得済み“トライアングルカプセルメンブレン (三角形振動板)”と超低ノイズでリニアな位相カーブを持つプリアンプとの組み合わせで、極めてクリーンなサウンドを提供できます。複雑な音声信号を本来の形のままキャプチャー。ディープでスピード感のある低域と伸びやかな高音を持ち、広くかつ滑らかなピックアップ特性を実現しています。



EHR-T Dual Capsule Studio Condenser Microphone



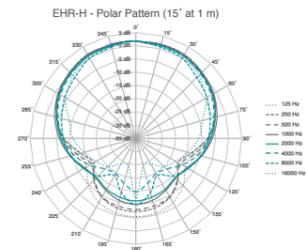
EHR-M と同じ三角形振動板を前面と背面に搭載した2つのカプセルを1つの筐体に搭載したデュアルカプセルスタイルのスタジオコンデンサーマイク。2つのカプセルはそれぞれが別々のアンプへつながれ、独立した出力を持っています。付属の5ピン→二又3ピン XLR ケーブルを用いて、ミキサー側で位相を反転したり、ゲインを調節することで異なるポーラーパターンを作成できます。



EHR-H Handheld Condenser Microphone



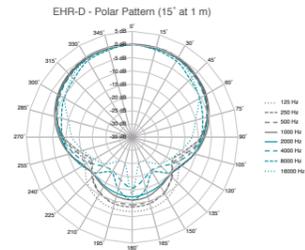
EHR-M と同様の三角形振動板を搭載した、スタジオやライブでの使用を想定したハンドヘルド型コンデンサーマイク。トランジェントの良いクリアな音質とスピード感のある低域が特徴の三角形振動板の音質をハンドヘルドタイプで実現しました。



EHR-D Studio Condenser Microphone



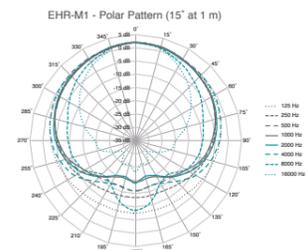
Ehrlund 社のラージダイアフラムコンデンサーマイクロフォンの中で最小かつ最軽量で最も耐久性の高い製品。様々な楽器の収録に優れた性能を発揮し、キックドラム等の高音圧音源にも対応可能。ダストフィルターや頑丈なシャーシ、コンパクトなサイズはライブサウンドの現場でも活用できます。トゥルーカーディオイドを持ち、狙った音源へのマイキングが簡単になります。



EHR-M1 Studio Condenser Microphone



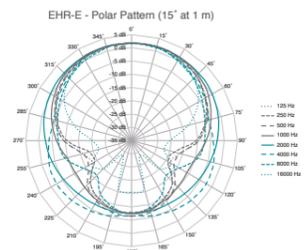
EHR-M を小型化し高い耐衝撃性を持たせ、ダストフィルターを搭載したモデル。Ehrlund を代表する EHR-M のサウンドをレコーディングだけではなく、ライブステージなどの現場でも活用できます。小型なボディはドラムの収録などマイクロフォンの設置に制限がある音源の収録にも最適です。



EHR-E Studio Condenser Microphone



打楽器や金管楽器やギターアンプ、ヴォーカル等の大音量音源の収録に最適な小型軽量のコンデンサーマイクロフォン。音響的影響を最小限に抑えるために隙間の大きい頑丈なメッシュを採用。トゥルーカーディオイドよりもやや狭いポーラーパターンを持ち、狙った音源へのマイキングが簡単になります。





Delphos II "67 Type" Capsule JFET Studio Concenser Microphone



ニュートラルな周波数特性と高い入力感度と非常に低いセルフノイズを実現したプレミアムなスタジオコンデンサーマイク。クリアで透明感のある音質をもたらすトランスレス回路を使用。この回路は雑音レベルの低い NOS (New Old Stock) トランジスターとヨーロッパ産コンデンサーを使って米国内で製造されています。オムニ/カーディオイド /8 の字のパターン切り替えと -10 dB パッドのオン/オフ可能。付属のショックマウントはフラッシュマウントが可能で、歌手や奏者はマウント金具に邪魔されることなく、簡単にマイクと近いポジションがとれ、マイクの自然な近接効果を得ることができます。

Colares Boutique Vocal Microphone



ヴィンテージ感あふれるリッチなトーンが特徴の Colares はニュートラルな特性を持つマイクではありません。名高いヴィンテージマイク Telefunken ELA M251 にインスピレーションを受けていますが他の Roswell マイクと同様にヴィンテージマイクをただ再現するのではなく、251 の独特なヴィンテージトーンを継承しつつ、現代の音楽制作にマッチしたサウンドデザインとセッティングやメンテナンスにストレスがない、扱いやすい仕様を実現。JFET は個別にバイアス調整した NOS パーツ。米国 CineMag 社製カスタム出力トランス使用。2 次倍音が減少しクリアなサウンドへ変化する -10 dB パッド搭載。3 段階 HPF 搭載。Rycote® 社製ショックマウント付属

Jo. Zähl
Zähl

EQ1 Stereo Equalizer from Legendary Zähl EQ



EQ1 : ステレオ EQ 500 シリーズモジュール

mini K47 "47 Type" Capsule JFET Studio Concenser Microphone



mini K47 のカプセル設計はマイク史上もっとも有名なカプセルの 1 つを元にしてしています。このカプセルは非常にバランスがとれており、強調された耳障りな高周波数成分は皆無で、ヴォーカルを録音する際の歯擦音やリップノイズを低減し、ギター録音では重量感が際立つサウンドをもたらします。mini K47 はカプセルが捉えたサウンドに余分なものを加えず透明感ある回路を採用。セルフノイズや歪も大幅に低減しています。ショックマウントとフライトケース付属。ステレオマッチングさせたペアバージョンも用意。

mini K87 "67/87 Type" Capsule JFET Studio Concenser Microphone



mini K87 はニュートラルなヴォイスングを持つ高解像度コンデンサーマイクで、トランスペアレントなサウンドながらソースが持つエモーションを捉え伝えることができます。このサウンドは特別チューニングを施した K67/K87 スタイルのカプセルとそれを増強して引き立てるように設計された回路の組み合わせから生まれます。ニュートラルな mini K87 は様々なソースの素晴らしいサウンドをそのまま捉えます。ショックマウントとフライトケース付属。

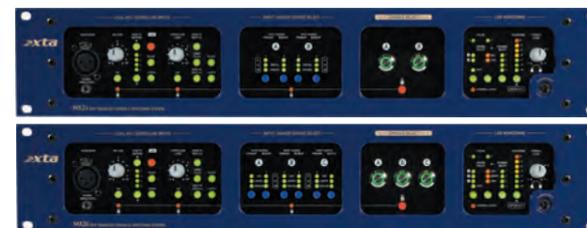
IM1 Insert Master featuring M/S Conversion & Stereo Base Control



IM1 : M/S インサートマスター 500 シリーズモジュール



MX-Series DSP Enabled Console Switching System



複数の卓アウトからメインシステムへルーティングするコンソールスイッチングシステム。アナログと AES/EBU と Dante の 3 フォーマット分をそれぞれ 4 チャンネル (例 : L/R/ インフィル/サブウーファー) セットで FOH 卓に何かあった際に FB 卓へ切り替えることができます。別にマイクインプットと BGM 用ステレオインプットも用意されています。

MX24、MX36 共通 ●アナログ入力 : BGM×1 (Mini stereo) + MIC×1 (XLR) ●寸法 (2U) 482W×88H×312D mm ●重量 5.1 kg

MX24-A (Analog+AES) ●アナログ入力 2x4ch ●AES 入力 2x4ch ●アナログ出力 4ch ●AES 出力 4ch

MX24-D (Analog+Dante) ●アナログ入力 2x4ch ●Dante 入力 2x4ch ●アナログ出力 4ch ●Dante 出力 4ch

MX36 (Analog+AES+Dante) ●アナログ入力 3x4ch ●AES 入力 3x4ch ●Dante 入力 3x4ch ●アナログ出力 4ch ●AES 出力 4ch ●Dante 出力 4ch

DNA20 Digital Network Audio Amplifier



DNA20 (Analog)

DNA20-D (Analog + Dante)

Dante インプットを実装できる 1U/4ch デジタルパワーアンプ。24 ビット 96 kHz の DAC を備え、4 チャンネルのアナログ XLR か Dante を介したネットワーク音声の 4 チャンネルを切り替え可能。オートスタンバイモードから 200 ms 未満で復帰。リモート GPIO モニタリング。

●周波数特性 20 Hz ~ 20 kHz ±0.3 dB ●出力パワー 175 W×4 (8Ω)、350 W×4 (4Ω)、480 W (2.7Ω)、360 W (2Ω) ●寸法 (1U) 48W×44H×458D mm ●重量 5.1 kg

APA-4E8 Adaptive Processing Amplifier



4 チャンネルの DSP 処理と 96kHz でのリアルタイムモニタリングも行うパワーアンプ。主電源電圧と電流を連続監視します。Mac/PC 互換でマルチユーザーの新リモートソフトウェアを利用可能。

●周波数特性 3 Hz ~ 30 kHz -3 dB ●総合出力パワー 20,000 W ●寸法 482W×88H×498D mm ●重量 15.0 kg

5 Series Dynamic Audio Management



DP548 は XTA Electronics 製品ラインアップから最上のもを組み合わせた最強のソリューション。新型 DSP プラットフォームによって標準的な 4 Series の筐体内に入力毎の 3 バンド DEQ、出力毎の可変ニーコンプレッサー、任意の入力から出力へのフルマトリクスミキシングを追加。これ以外に 4 Series プロセッサの機能を含みます : 28 バンド GEQ (GQ600 をエミュレート) が 4 基、複数バンドの PEQ (シェルビング/楕円/フェイズノッチ/バンドパスの一式を装備)、X-over フィルター、RMS リミッター、D-Max リミッター。DP544 は 4 チャンネルモデル。

4 Series Audio Management System



DP448 : 4in/8out. 1 台でステレオ 4 ウェイを実現できるだけでなく野外フェスティバル等で AB 卓を同時に入力してサミング可能。

DP446 : 4in/6out. 4in + サミング + GEQ + ステレオ 3 ウェイ駆動も可能。

DP444 : 4in/4out. 要望の多かった 4ch マトリクスプロセッサで 4ch 分の GEQ、PEQ、フェイズフィルター、ディレイ、リミッターを搭載。4ch 入力 + サミング + GEQ + ステレオ 2 ウェイ駆動も可能。

DP424 : 2in/4out. デュアル GEQ + ステレオ 2 ウェイ駆動も可能。

DP426 : 2in/6out. デュアル GEQ + ステレオ 3 ウェイ駆動も可能。

●入力 : アクティブバランス ●出力 : アクティブバランス ●ダイナミックレンジ 116 dB

●各入力に 8 ポイント、各出力に X-Over と 9 ポイントのフィルターを装備 ●各出力に RMS リミッターと先読み式 "Look-Ahead" リミッターを装備 ●各入出力にディレイを装備 ●入出力はアナログとデジタル選択可能 ●オプション : 入出力トランス ●インターフェイス : RS232C、RS485、PC カード ●寸法 483W×44H×300D mm ●重量 3.5 kg

DS8000 Active Audio Splitter



信頼性と音質に優れた 8in/32out のディストリビューションシステム。マイクアンプを新設計。各入力にはパネル照明やファンタム電源、リモート操作可能なパッドを装備。内部ジャンパー差し替えで出荷時 8in/32out 4 分岐をステレオ 16 分岐等、1in/32out まで自由に組み替え可能。デュアルリダンダント電源を搭載。デジタル出力を追加搭載した DS8000D、トランス出力を追加搭載した DS8000T もラインナップ。

●周波数特性 22 Hz ~ 22 kHz +0/-0.5 dB ●最大入力レベル +26 dBu ●寸法 483W×88H×332D mm ●重量 6 kg



注) 写真の縮尺率は一定ではありません

SL-Series: GSL-Series



GSL8 x 12 Array

GSL-Series は究極の大型ラインアレーを設計するという夢から生まれました。比類なきパフォーマンス、正確性、そして最先端の機能を備えたシステムを d&b が綿密に包括し、容易かつ直感的なオペレーションを可能にします。全帯域にわたる最高レベルの指向性制御を可能にするため、幅広い技術力と戦略を採用しています。

GSL-Series にはそれぞれ 80 度と 120 度の水平ディスペーションを持つ 2 本のラウドスピーカー GSL8 と GSL12 があります。このラインアレー・モジュールは、低域のカーディオイド技術を含む技術の融合によって全帯域で一貫した指向特性を生み出します。サブウーファーにはフライング可能な SL-SUB とスタッキングのみで使用できる SL-GSUB の 2 種類のカーディオイド・サブウーファーがあります。



GSL8

GSL12

SL-SUB

SL-GSUB

GSL8 : ドライバー 2×14" / 2×10" / 1×10" / 3×1.4" ● 水平ディスペーション 80° ● f 特 45 Hz ~ 18 kHz (-5 dB standard)、70 Hz ~ 18 kHz (-5 dB CUT mode) ● 重量 80 kg

GSL12 : ドライバー 2×14" / 2×10" / 1×10" / 3×1.4" ● 水平ディスペーション 120° ● f 特 45 Hz ~ 18 kHz (-5 dB standard)、70 Hz ~ 18 kHz (-5 dB CUT mode) ● 重量 80 kg

SL-SUB : ドライバー 3×21" ● f 特 30 Hz ~ 90 Hz (-5 dB standard)、30 Hz ~ 70 Hz (-5 dB INFRA mode) ● 重量 138 kg

SL-GSUB : ドライバー 3×21" ● f 特 30 Hz ~ 90 Hz (-5 dB standard)、30 Hz ~ 70 Hz (-5 dB INFRA mode) ● 重量 132 kg

SL-Series: KSL-Series

SL-Series の中〜大規模ラインアレー向けバージョンが KSL-Series です。KSL-Series にはそれぞれ 80 度と 120 度の水平ディスペーションを持つ 2 本のラウドスピーカー KSL8 と KSL12 があり、サブウーファーにはフライング可能な KSL-SUB とスタッキングのみで使用できる KSL-GSUB の 2 種類のカーディオイドサブウーファーがあります。



KSL8

KSL12

KSL-SUB

KSL-GSUB

KSL8 : ドライバー 2×10" / 2×8" / 1×8" ● 水平ディスペーション 80° ● f 特 54 Hz ~ 18 kHz (-5 dB standard)、75 Hz ~ 18 kHz (-5 dB CUT mode) ● 重量 58 kg

KSL12 : ドライバー 2×10" / 2×8" / 1×8" ● 水平ディスペーション 120° ● f 特 54 Hz ~ 18 kHz (-5 dB standard)、70 Hz ~ 18 kHz (-5 dB CUT mode) ● 重量 58 kg

KSL-SUB : ドライバー 3×15" ● f 特 36 Hz ~ 105 Hz (-5 dB Standard)、33 Hz ~ 75 Hz (-5 dB INFRA mode) ● 重量 82 kg

KSL-GSUB : ドライバー 3×15" ● f 特 36 Hz ~ 105 Hz (-5 dB Standard)、33 Hz ~ 75 Hz (-5 dB INFRA mode) ● 重量 78 kg

V-Series



V-SUB + V8 x 4 Array

V-Series は小規模から大規模構成までを網羅する高効率の柔軟なスタンドアロンシステムであるだけでなく、J-Series とマッチする音質を持ちますので J-Series の補助としても使用できます。水平カバレッジ 80° の V8 と 120° の V12 の指向制御はパッシブ 3 ウェイスシステムでは極めて異例な 250 Hz まで維持。V-SUB はカーディオイドサブウーファーで、アンプ 1ch で 2 台までドライブされます。また、ポイントソーススピーカーとして水平指向性 75° の V7P と水平指向性 110° の V10P、そしてスタッキング専用のサブウーファー V-GSUB も新しく加わりました。固定設備モデルの Vi-Series もあります。



V8/V12

V-SUB

V7P/V10P

V-GSUB

V8/V12 : ドライバー 2×10" / 8" / 2×1.4" ● 指向性 V8 80°、V12 120° ● f 特 67 Hz ~ 18 kHz ● 重量 34 kg

V-SUB : ドライバー 18" / 12" ● f 特 37 Hz ~ 115 Hz ● 重量 64 kg

V7P/V10P : ドライバー 2×10" / 8" / 1.4" ● 指向性 V7P 75° × 40°、V10P 110° × 40° ● f 特 59 Hz ~ 18 kHz ● 重量 33 kg

V-GSUB : ドライバー 18" / 12" ● f 特 37 Hz ~ 115 Hz ● 重量 61 kg

Y-Series



8xY8,Y12 Array

Y-Series は、中規模なスタンドアロン式または分散型のポイントソースソリューションに適している一方、V-Series や J-Series と同様、中規模なラインアレイポテンシャルにも幅広く対応できます。柔軟な水平指向特性と革新的なカスタムウェーブガイド機能を装備した回転ホーンが幅広い帯域で均等な指向性を約束します。双極式にドライバーを配置したことにより正確な指向性コントロールを実現するとともに、バスレフレックス設計によって深い低域パフォーマンスが達成されています。アレイ可能なキャビネットにはカーディオイドサブウーファーであっても 3 ポイントリギングシステムが統合されています。これらに加えてグランドスタックも可能であり、多様な設置方法が可能となっています。固定設備モデルの Yi-Series もあります。



Y7P

Y10P

B6-SUB

Y8

Y12

Y-SUB

Y7P/Y10P : ドライバー 2×8" / 1.4" ● 指向性 Y7P 75° × 40°、Y10P 110° × 40° ● f 特 59 Hz ~ 18 kHz ● 重量 19 kg

B6-SUB : ドライバー 18" ● f 特 37 Hz ~ 140 Hz ● 重量 43 kg

Y8/Y12 : ドライバー 2×8" / 1.4" ● 指向性 Y8 80° × 0 ~ 14°、Y12 120° × 0 ~ 14° ● f 特 54 Hz ~ 19 kHz ● 重量 20.5 kg

Y-SUB : ドライバー 18" / 12" ● カーディオイド ● f 特 39 Hz ~ 140 Hz ● 重量 52 kg

T-Series



T10 x 8 Array

T-Series は正確な指向制御を可能な限り最も低い周波数まで維持するという基本要件を、小規模な現場での単独ラウドスピーカー使用から中規模な現場での複数キャビネットによるラインアレイまで極めて広い用途で共有できることを意図して設計されています。これを実現するために、対極状の低域ドライバー配置や高偏位ドライバーと低コンプレッション排気の組み合わせ、そして回転可能なウェーブガイドホーンと音響レンズのユニークな組み合わせ等の技術を取り入れました。目立ちにくい外観、コンパクトなサイズ、軽量、ハイパワー、模範的とも言える指向性能によって T-Series はスピーチや音楽用途に最適です。固定設備モデルの Ti-Series もあります。



T10

T-SUB

B4-SUB

T10 : ドライバー 2×6.5" / 1×1.4" ● 指向性 90° × 35° ● f 特 70 Hz ~ 18 kHz ● 重量 11 kg

T-SUB : ドライバー 15" ● f 特 50 Hz ~ 130 Hz ● 重量 17 kg

B4-SUB : ドライバー 15" + 12" ● f 特 40 Hz ~ 150 Hz ● 重量 44 kg

A-Series

A-Series オーグメント・アレー・ラウドスピーカーは特に中規模用途向けに設計されています。可変スプレイ角と音響的最適化をコンパクトなフォーマットに組み合わせた A-Series はカバレッジの柔軟性が重要な様々な用途に適し、AL60/ALi60 と AL90/ALi90 はラウドスピーカー 1 本から充実した SR ソリューションまで拡張可能な d&b システムとなります。2 ~ 4 本のラウドスピーカーのアレーを水平または垂直に配置して 50 ~ 150 度のエリアをカバーできます。可変スプレイ角のおかげで A-Series ラウドスピーカー 4 本までのアレーを ±10 度の範囲内で現場の形状に 5 度刻みで正確に合わせることが可能です。中域指向性制御によって音響的最適化が d&b 社製アンプから直接得られます。この機能は ArrayProcessing よりも使用アンプチャンネルが少なく、またどのスプレイ角でも低中域指向パターンの対称性が保たれます。A-Series ラウドスピーカーを既存の様々な d&b アンプやサブウーファーと組み合わせれば用途独自のニーズに対処できます。固定設備バージョンとして ALi60 と ALi90 があります。



AL60 / ALi60

AL90 / ALi90

AL60x3

AL60 & ALi60 : ドライバー 2×10" / 1×1.4" ● H/V ディスペーション 60° × 30° ● スプレイ角 20 ~ 40° (5° 刻み) ● f 特 60 Hz ~ 18 kHz (-5 dB standard)、95 Hz ~ 18 kHz (-5 dB CUT mode) ● 重量 23 kg (AL60)、22 kg (ALi60)

AL90 & ALi90 : ドライバー 2×10" / 1×1.4" ● H/V ディスペーション 90° × 30° ● スプレイ角 20 ~ 40° (5° 刻み) ● f 特 60 Hz ~ 18 kHz (-5 dB standard)、95 Hz ~ 18 kHz (-5 dB CUT mode) ● 重量 23 kg (AL90)、22 kg (ALi90)

E-Series

E-Series はウルトラコンパクトデザインと選択可能なフォーマットに高い出力とパフォーマンスを持っており、様々な制作現場からの要望に対する回答です。スピーチ再生やフィルまたはディレイ、制作スタジオ、プレゼンテーションや音楽再生に、サブウーファーと併用または併用せずに、優れたソリューションを提供します。多様なアプリケーション指向のアクセサリーとフィッティングによって **E-Series** を実用的な場所に取り付けることができます。



左から：E4、E5、E6、E8、E12 (E12D)

E4：ドライバー 4"/0.75" 同軸 ● 指向性 100° conical ● f 特 130 Hz ~ 20 kHz ● 重量 1.1 kg

E5：ドライバー 5"/1" 同軸 ● 指向性 100° conical ● f 特 85 Hz ~ 20 kHz ● 重量 2.7 kg

E6：ドライバー 6.5"×1" ● 指向性 90°×60° ● f 特 85 Hz ~ 20 kHz ● 重量 5.0 kg

E8：ドライバー 8"/1" ● 指向性 90°×50° ● f 特 70 Hz ~ 18 kHz ● 重量 8 kg

E12 (E12D)：ドライバー 12"/1.3" ● 指向性 80°×50° (110°×50°) ● f 特 50 Hz ~ 18 kHz ● 重量 16 kg

E12X-SUB：ドライバー 12" ● f 特 45 Hz ~ 140 Hz ● 重量 18 kg

E15X：ドライバー 15" ● f 特 37 Hz ~ 140 Hz ● 重量 24 kg

Monitors

コンパクトな大きさ、機能的なデザインと高いパフォーマンス、簡単なオペレーション、ニュートラルなサウンド再生、正確に定義された指向性、極めて高いレベルでも安定したフィードバックスタビリティの確保により、ニュートラルなプラットフォームと効率的なツールを、エンジニアとアーティストどちらにもお届けします。



M2

M4

M6

MAX2

M2：ドライバー 2×12"/1.4" ● 指向性 45°×60° ● f 特 50Hz ~ 17kHz ● 重量 38kg

M4：ドライバー 15"/1.3" ● 指向性 50°×70° ● f 特 55Hz ~ 17kHz ● 重量 20kg

M6：ドライバー 12"/1.3" ● 指向性 50°×80° ● f 特 65Hz ~ 17kHz ● 重量 16kg

MAX2：ドライバー 15"/1.4" ● 指向性 75° ● f 特 55Hz ~ 20kHz ● 重量 23kg

Subwoofers

各シリーズに属するもの以外にも d&b はハイパフォーマンスなサブウーファーを用意しています。**B8-SUB** は **xC-Series**、**xS-Series**、**E-Series** ラウドスピーカーと組み合わせる超小型サブウーファーで、バスレフキャビネット内に 6.5" ドライバー 2 個を搭載。キャビネットの高さが低めなので、高音圧レベルを達成しつつ低く伸びた低域応答を必要とする小規模なモバイル用途に最適。**B22-SUB** はグラウンドスタック専用設計された高性能サブウーファーで、ロングエクスカーション 18" ドライバー 2 本をバンドパスホーンキャビネットに組み込んでいます。高音圧レベルと拡張された周波数応答を持ち大規模 SR 用途に最適。INFRA モードでの運用時、システムの低域応答を拡張することで他の d&b 社製サブウーファーを補完するのに使用可能。3 台の **B22-SUB** または **B22-SUB** 3 台を複数組用いる場合は、それらをカーディオイドサブウーファーアレー内に配置でき、低域での優れた指向性制御を実現して背面に放射されるエネルギーを大幅に低減できます。



B8-SUB



B22-SUB

B8-SUB：ドライバー 2×6.5" ● f 特 43 Hz ~ 170 Hz (-5 dB, standard)、43 Hz ~ 125 Hz (-5 dB, 100 Hz mode) ● 重量 18 kg

B22-SUB：ドライバー 2×18" ● f 特 37 Hz ~ 90 Hz (-5 dB, standard)、32 Hz ~ 68 Hz (-5 dB, INFRA mode) ● 重量 106 kg

xA-Series

xA-Series は 4 台のラウドスピーカーと 2 台のサブウーファーから構成され、機械的にアレー可能で (「xA」の「A」は「Arrayable」の A)、明確でありながら出しゃばらない工業デザインを共有しています。用途に応じたディスペーションおよびカバレッジ特性を提供する垂直なアレーが構築できるようにキャビネットにはリギングシステムが組み込まれています。直接放射型の LF/MF はラインソースウェーブガイドを含む異なる HF ディスペーションテクノロジーと組み合わせて用いられています。



27A-SUB + 4×10AL Array

3×10AL Array

10A/10A-D, 10AL/10AL-D

27A-SUB, 18A-SUB

10A：ドライバー 10"/1.4" ● 指向性 75°×50° ● f 特 65 Hz ~ 18 kHz ● 重量 13 kg

10A-D：ドライバー 10"/1.4" ● 指向性 110°×55° ● f 特 65 Hz ~ 18 kHz ● 重量 13 kg

10AL：ドライバー 10"/1"×2 ● 指向性 75°×LA (0~15°) ● f 特 65 Hz ~ 18 kHz ● 重量 13 kg

10AL-D：ドライバー 10"/1"×2 ● 指向性 105°×LA (0~15°) ● f 特 65 Hz ~ 18 kHz ● 重量 13 kg

18A-SUB：ドライバー 18" ● f 特 37 Hz ~ 140 Hz ● 重量 35 kg

27A-SUB：ドライバー 15"/12" ● f 特 40 Hz ~ 140 Hz ● 重量 44 kg

xS-Series



左から：4S、5S、8S、10S、12S



左から：12S-SUB、27S-SUB、18S-SUB



44S

24S/24D

21S

xS-Series はスタンドアロン用途向けに設計された 7 台のラウドスピーカーと 3 台のサブウーファーで構成されます (「xS」の「S」は Stand-alone の S)。ラウドスピーカーは広範囲のサイズと出力パワーをカバーし、設置用ハードウェアが組み込まれた明確でありながら出しゃばらない工業デザインを共有しています。キャビネットとアクセサリーの両方には耐候オプションまたは特別色オプションも利用可能です。ホーンが回転可能なことによってスピーカー取り付けオプションの柔軟性がさらに高まります。

4S：ドライバー 4"/0.75" ● 指向性 100° conical ● f 特 130 Hz ~ 20 kHz ● 重量 1.3 kg

5S：ドライバー 5"/1" ● 指向性 100° conical ● f 特 80 Hz ~ 20 kHz ● 重量 1.9 kg

8S：ドライバー 8"/1" ● 指向性 100° conical ● f 特 70 Hz ~ 20 kHz ● 重量 7 kg

10S：ドライバー 10"/1.4" ● 指向性 75°×50° 回転可能 ● f 特 65 Hz ~ 18 kHz ● 重量 12 kg

10S-D：ドライバー 10"/1.4" ● 指向性 110°×55° 回転可能 ● f 特 65 Hz ~ 18 kHz ● 重量 12 kg

12S：ドライバー 12"/1.4" ● 指向性 75°×50° 回転可能 ● f 特 50 Hz ~ 18 kHz ● 重量 16 kg

12S-D：ドライバー 12"/1.4" ● 指向性 110°×55° 回転可能 ● f 特 50 Hz ~ 18 kHz ● 重量 16 kg

44S：ドライバー 2×4.5" / 1.25" ● 指向性 90°×30° 回転可能 ● f 特 90 Hz ~ 17 kHz ● 重量 3.6 kg

24S：ドライバー 2×12"/1.4" ● 指向性 75°×45° 回転可能 ● f 特 55 Hz ~ 18 kHz ● 重量 33 kg

24D：ドライバー 2×12"/1.4" ● 指向性 110°×45° 回転可能 ● f 特 55 Hz ~ 18 kHz ● 重量 33 kg

12S-SUB：ドライバー 12" ● f 特 45 Hz ~ 140 Hz ● 重量 17 kg

18S-SUB：ドライバー 18" ● f 特 37 Hz ~ 140 Hz ● 重量 35 kg

27S-SUB：ドライバー 15"/12" ● f 特 40 Hz ~ 140 Hz ● 重量 44 kg

21S：ドライバー 21" ● f 特 35 Hz ~ 105 Hz ● 重量 54 kg

xC-Series

xC-Series は常設配置用コラムラウドスピーカーです。標準仕様として白と黒の両方が提供されていますので、様々なインテリアデザインにも理想的にマッチします。**16C/24C** のデザインは音響的に困難な環境だけではなく設置環境に対して美的にもシームレスに統合されます。**24C-E** パッシブエクステンションは **24C** に直接取り付けすることでコントロールする領域がさらに 1 オクターブ増え、垂直指向性が高まります。

16C：ドライバー 4×4"/0.75" ● 指向性 90°×40° ● f 特 140 Hz ~ 17k Hz ● 重量 6 kg

24C：ドライバー 6×4"/6×1.1" ● 指向性 90°×20° ● f 特 150 Hz ~ 17 kHz ● 重量 9 kg

24C-E：ドライバー 6×4" ● 重量 7 kg



16C

24C

24C+24C-E

Amplifiers

D80/D20 は 2RU 筐体の 4 チャンネル高出力アンプです。16 バンドダイコライザーではパラメトリック、非対称カーブ、シェルピング、ノッチの各フィルタリングが行えます。また、カラー TFT タッチスクリーンによりメニューに素早くアクセスできるほか、ロータリーエンコーダーを使って微調整も可能です。

D80 に搭載された「LoadMatch」機能によって、追加導体の必要なしにスピーカーケーブル特性の電氣的補正が可能になっています。その結果、20 kHz までの帯域にわたっての音声再生精度が向上し、最長 70 m までのケーブルが使用されたときでも音質バランスが維持されます。

主電源にアクティブ PFC (Power Factor Correction) 機能を持つパワー・サプライを採用するクラス D アンプで、主電源が弱かったり不安定な場合でも、補強され安定化された出力を維持できます。



D80



D20

30D/10D は固定設備用に最適な 4ch アンプです。D80/D20 と同様な DSP が搭載されているとともに 5 系統の GPI を装備していますので、外部機器からのコントロールも可能です。



30D



10D

40D は固定設備用でありながらカラー TFT タッチスクリーンを有し、操作性を向上させたハイパワーモデル。

D40 は 40D のモバイルバージョンで、D20 より出力パワーがさらにアップしています。



40D



D40

Audio network bridge



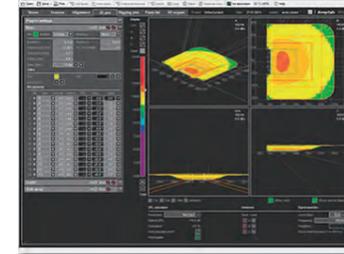
DS10 オーディオネットワークブリッジは Dante ネットワークを AES3 デジタルオーディオ信号 16ch 出力します。同時にイーサネット制御データも分配可能です。

DS100 Signal Engine



DS100 は Soundscape 用のプロセッサです。64×64 のマトリクスレベルとディレイをコントロールします。インターフェースは Dante (オプションで Milan に対応)。

ArrayCalc Simulation Software



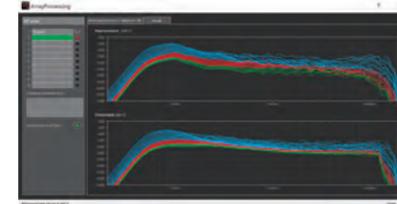
d&b のラインアレイとコラムやポイントソースのスピーカーおよびサブウーファーのためのシミュレーションツールで、音響デザイン、性能予測、アライメント、リギング、およびセーフティパラメータに関連するあらゆるタスクのための包括的なツールボックスです。ArrayCalc の R1 エクスポート機能が、R1 リモートコントロールソフトウェアのためのプロジェクトファイルを作成します。そして EASE および DXF データエクスポート機能も利用できます。

R1 Remote Software



ArrayCalc の R1 エクスポート機能によって、スピーカータイプやアンプ設定などを含むすべてのシステムデータが、R1 リモートコントロールソフトウェアに転送され、これが制御と監視が行われるすべての対象についての詳細である、完全なシステムコンフィグレーション情報ベースとなります。R1 リモートコントロールソフトウェアはシステムをグラフィカルに表現します。

Array Processing



ArrayCalc シミュレーションソフトウェアに搭載され、選択可能なアレイプロセッシングは会場全体のリスニングエリアに対する d&b ラインアレイの音質性能を最新の FIR フィルターと IIR フィルターによって最適化する最新機能です。

アレイプロセッシングを使用することで一定の音質・音色バランスがすべての顧客に対して極めて高いレベルで提供されます。アレイプロセッシングによる明瞭度の改善や音色バランスの改善は、J-Series、V-Series、Y-Series の 3 シリーズのラインアレイシステムで使用可能です。

d&b Soundscape



d&b Soundscape は、あなたが感じる音、見るがままの音、意図した音を再現します。パワフルな Dante 対応シグナルマトリクスに基づいた画期的な音響システムプロセッサである DS100 シグナルエンジンを装備した d&b Soundscape は、2 つのソフトウェアモジュール (En-Scene、En-Space) により、類を見ない創造性を提供します。